



株式会社夢真ホールディングス
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2016年9月期
決算説明会
～第2四半期～

2016年5月18日版

2016年9月期/
September. 2016
証券コード/
Securities code
2362

CONTENTS

連結決算概要 … P3

セグメント別概要 …P25

2016年9月期 **下半期**について …P53

株主還元 …P64

ご参考 …P68

連結決算概要

連結決算概要

事業ポートフォリオの再編

事業の多角化
ストック型ビジネスで収益安定
[リスク分散型]

1. 建築技術者派遣

建築技術サポート

- ・ 施工管理技術者派遣
- ・ CADオペレーター派遣

施工図作図請負

2. エンジニア派遣

製造業向けエンジニア派遣
システムエンジニア派遣

3. 子育て支援

保育所の運営
保育士派遣

4. 介護

デイサービス施設の運営

5. 総合建設

高級注文住宅の施工

得意分野・強みに集中
高付加価値の人材ビジネスに特化
[高収益型]

1. 建築技術者派遣

建築技術サポート

- ・ 施工管理技術者派遣
- ・ CADオペレーター派遣

施工図作図請負

2. エンジニア派遣

製造業向けエンジニア派遣
システムエンジニア派遣

3. 人材紹介 (15/6よりスタート)

人材紹介

外国人技術者の活用・支援

※ 2015年9月期 第4四半期より適用

TOPIC

1. 売上高

ノンコア事業売却も増収

2. 売上総利益・営業利益

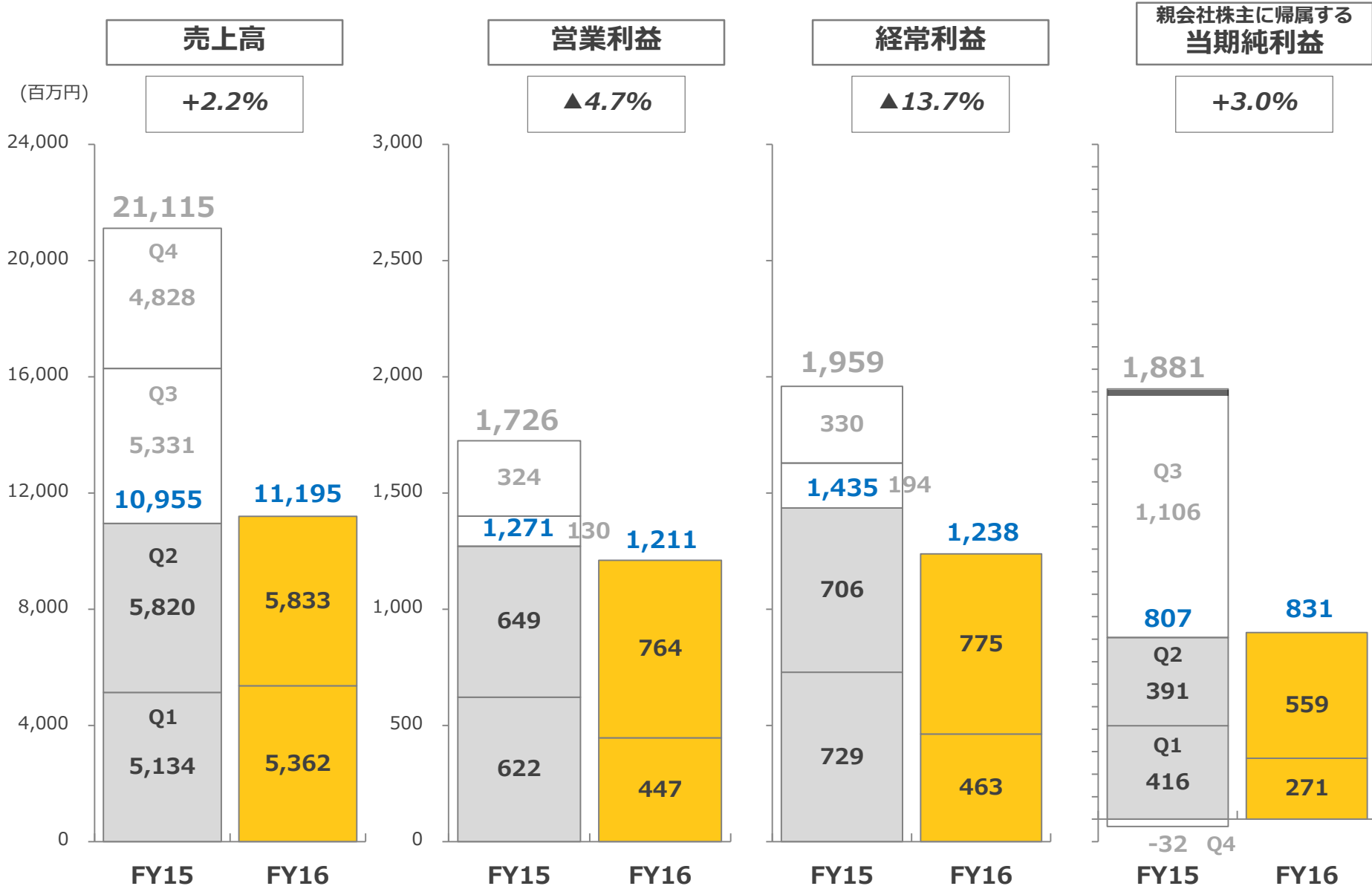
増益にトレンド転換

3. 採用進捗

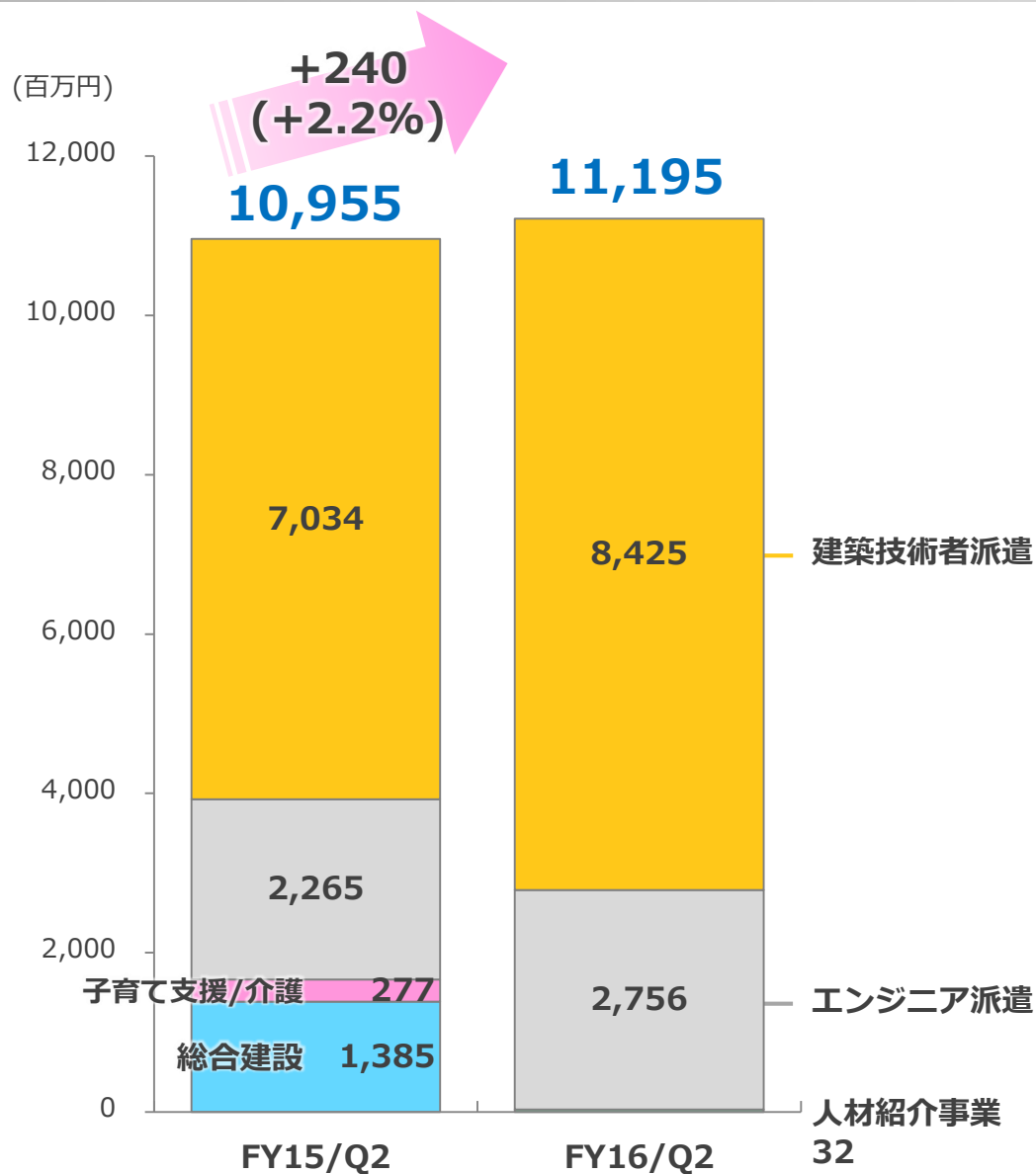
グループ全体で好調を維持

連結P/Lの状況

連結P/Lの状況



連結P/L (1) 売上高



[主な増減要因]

建築技術者派遣 **+1,391百万**
(+19.8%)

□ 稼働人数の増加による増収

エンジニア派遣 **+490百万**
(+21.7%)

□ 稼働人数の増加による増収

人材紹介 **32百万**

□ 建設業・製造業界への人材紹介

※1. 人材紹介事業はFY15/Q4より連結しております。
 ※2. 子育て支援、介護および総合建設事業はFY15/Q3に株式譲渡を行ったため、FY2016には含まれておりません。

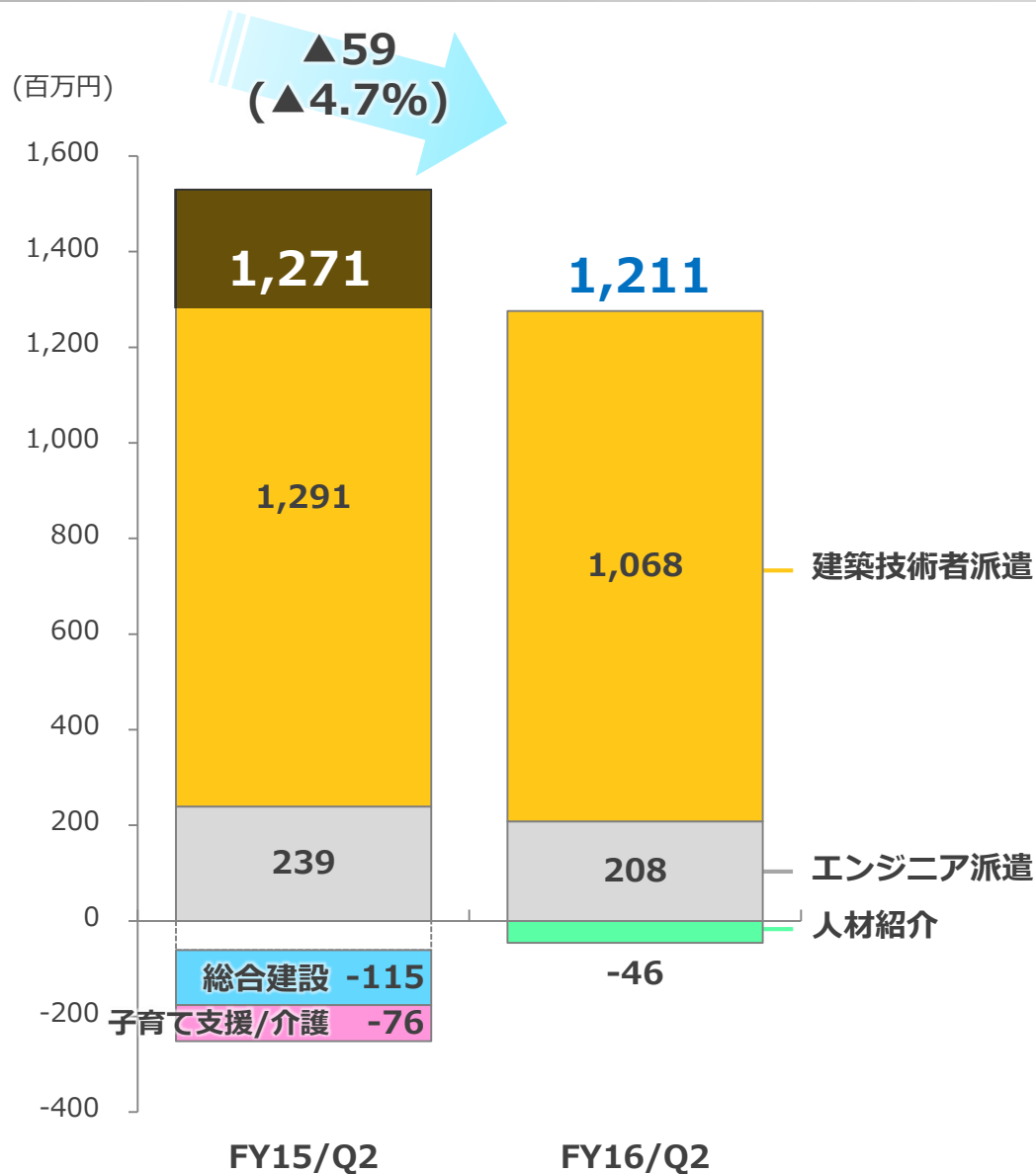
連結P/L (2) 販売費及び一般管理費

(百万円)

	FY15/Q2	FY16/Q2	増減額	摘要
売上原価	8,039	8,056	+17	・技術者の増員による増加
売上原価率	73.4%	72.0%	▲1.4pt.	
売上総利益	2,916	3,138	+222	
売上総利益率	26.6%	28.0%	+1.4pt.	
販売費及び一般管理費	1,644	1,926	+282	
役員報酬	65	70	+4	
人件費	785	901	+116	・営業員の増員による増加
広告宣伝費	29	8	▲20	
採用費	248	421	+173	・媒体費用の増加
地代家賃	166	148	▲17	
業務委託費	88	130	+42	・夢エージェントの連結による増加 (+18百万円)
のれん償却額	60	26	▲33	・子会社の売却による減少
販管費率	15.0%	17.2%	+2.6pt.	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)

連結P/L (3) 営業利益



[主な増減要因]

建築技術者派遣 ▲223百万 (▲17.3%)

□ 派遣単価の一時的な低下による減益

エンジニア派遣 ▲31百万 (▲13.1%)

□ 採用コストの増加による減益

人材紹介 ▲46百万

□ 建設業・製造業界への人材紹介

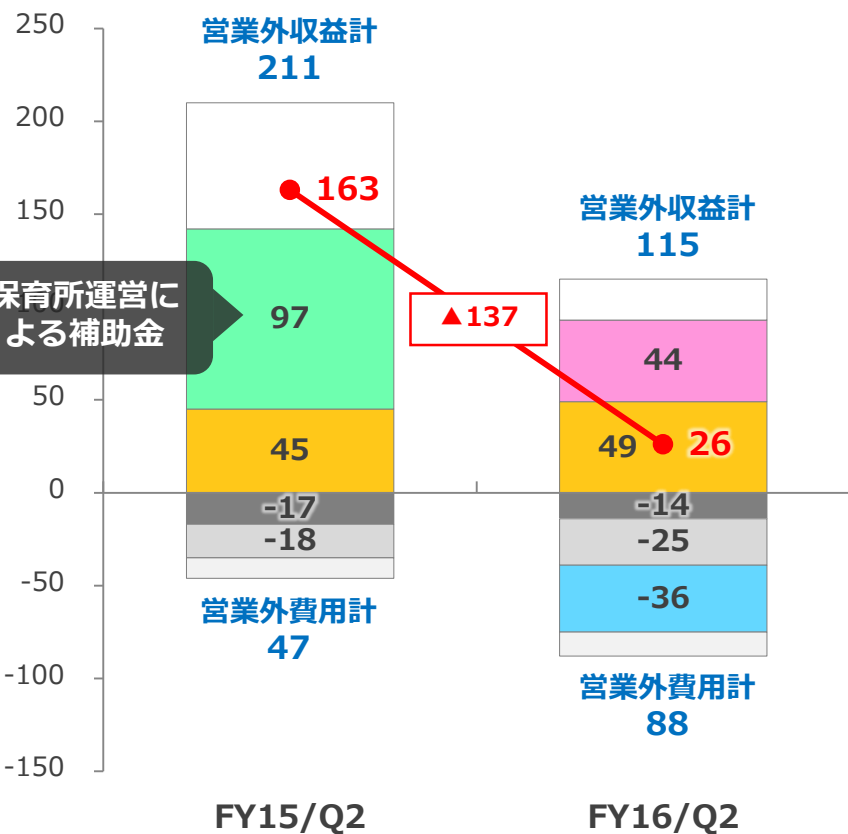
- ※1. 人材紹介事業はFY15/Q4より連結しております。
 ※2. 子育て支援、介護および総合建設事業はFY15/Q3に株式譲渡を行ったため、FY2016には含まれておりません。

連結P/L (4) 営業外損益・経常利益

(百万円)

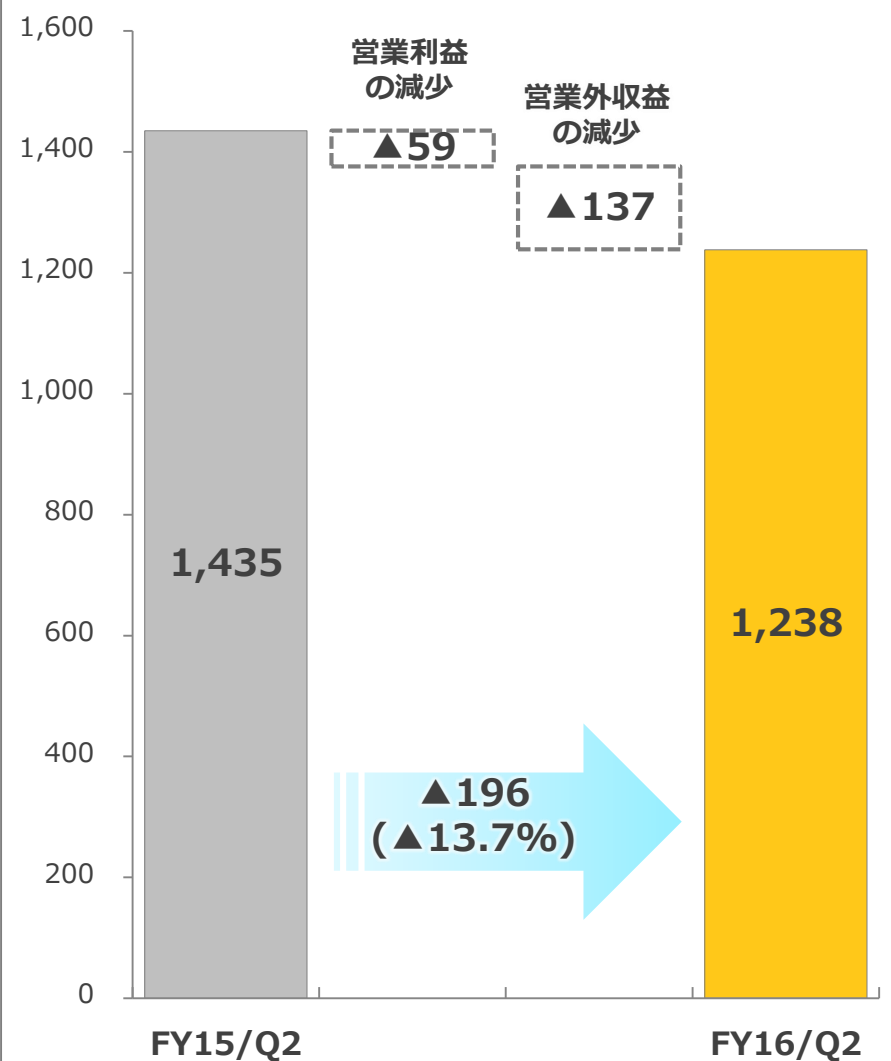
営業外損益

- 受取家賃
- 補助金収入
- 支払利息
- 為替差損
- 営業外損益
- 有価証券売却益
- その他の営業外収益
- 賃貸収入原価
- その他の営業外費用

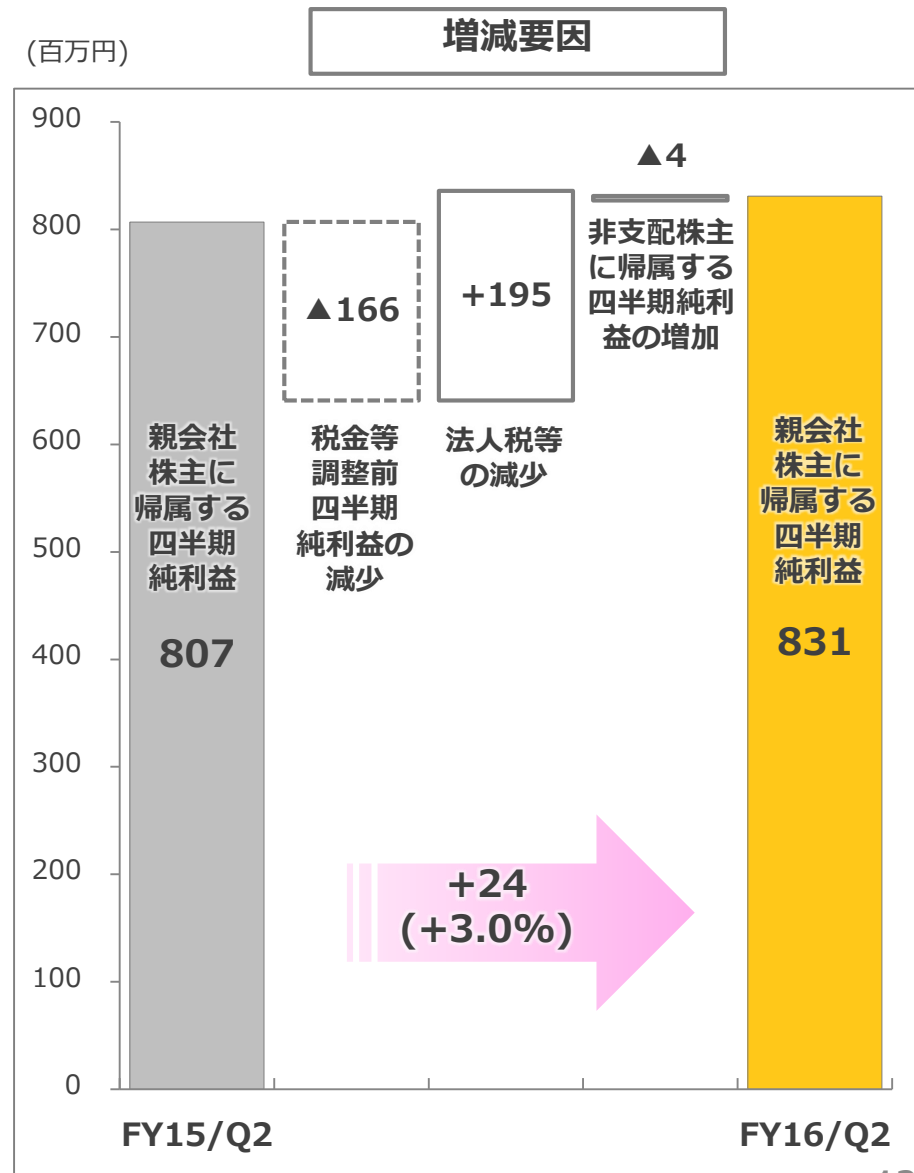
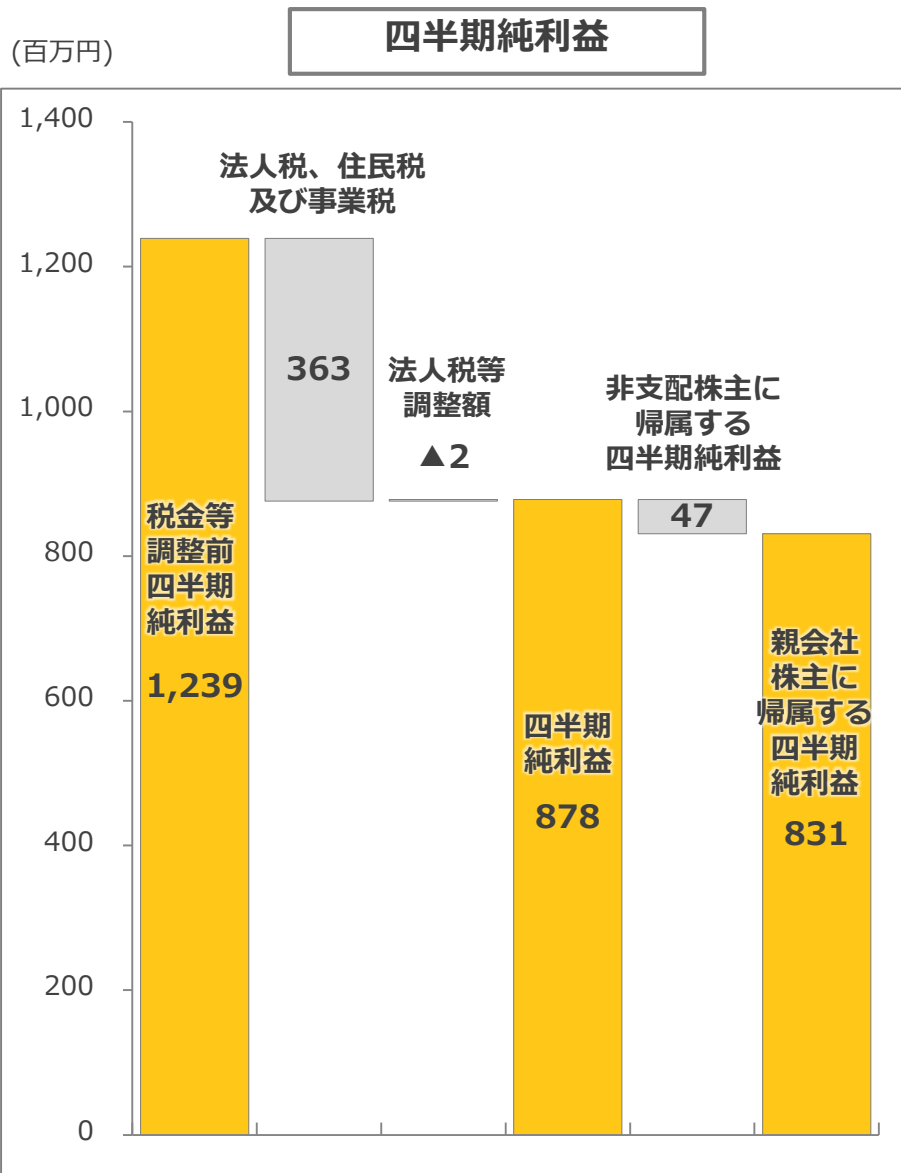


(百万円)

経常利益



連結P/L (5) 親会社株主に帰属する四半期純利益



連結 P/L サマリー

(百万円)

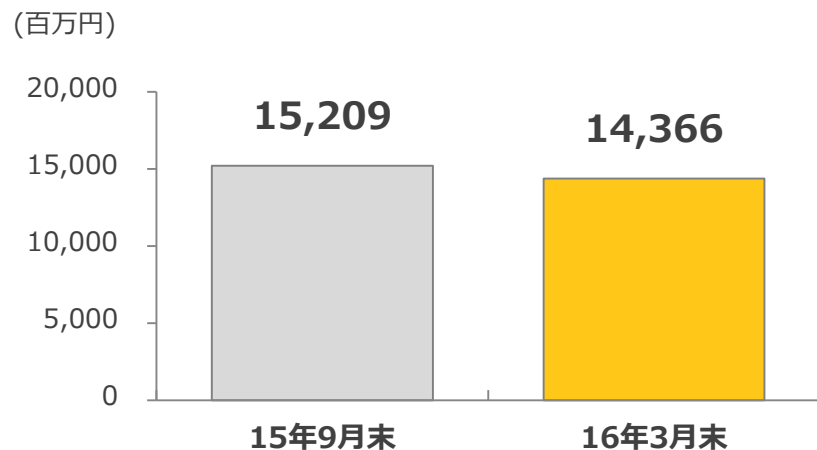
	FY15/Q2	FY16/Q2	増減額	増減率
売上高	10,955	11,195	+240	+2.2%
売上総利益	2,916 (26.6%)	3,138 (28.0%)	+222	+7.6%
販売費及び一般管理費	1,644 (15.0%)	1,926 (17.2%)	+282	+17.2%
営業利益	1,271 (11.6%)	1,211 (10.8%)	▲59	▲4.7%
経常利益	1,435 (13.1%)	1,238 (11.6%)	▲196	▲13.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	807 (7.4%)	831 (7.4%)	+24	+3.0%

※ () = 売上高比率

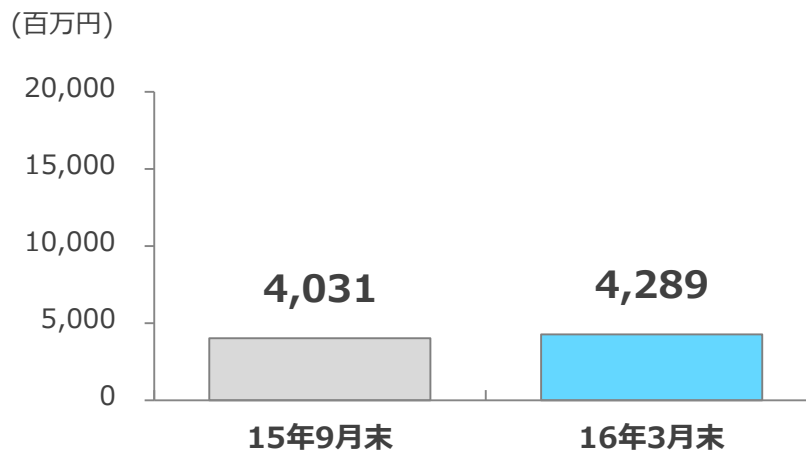
連結B/Sの状況

連結B/Sの状況

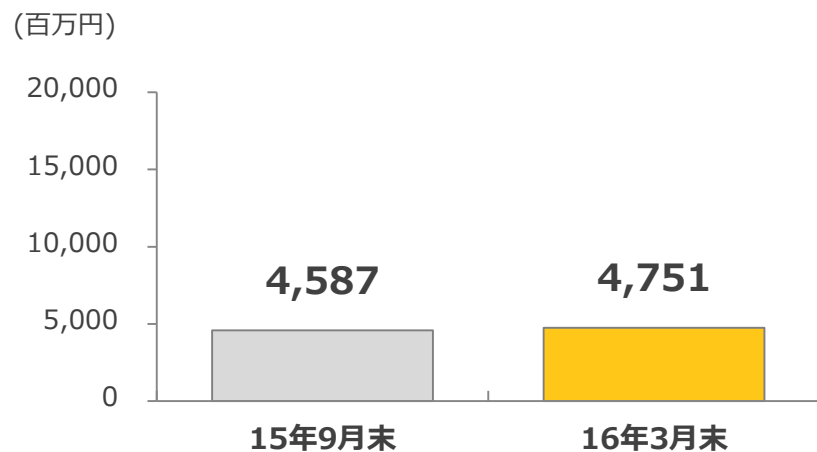
流動資産



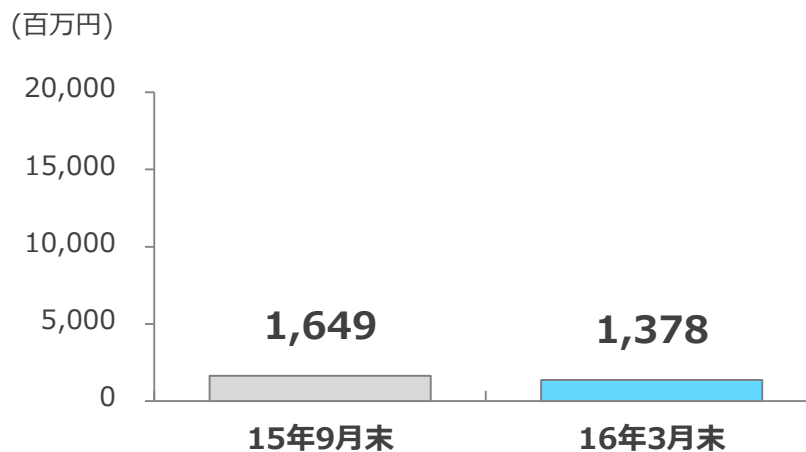
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

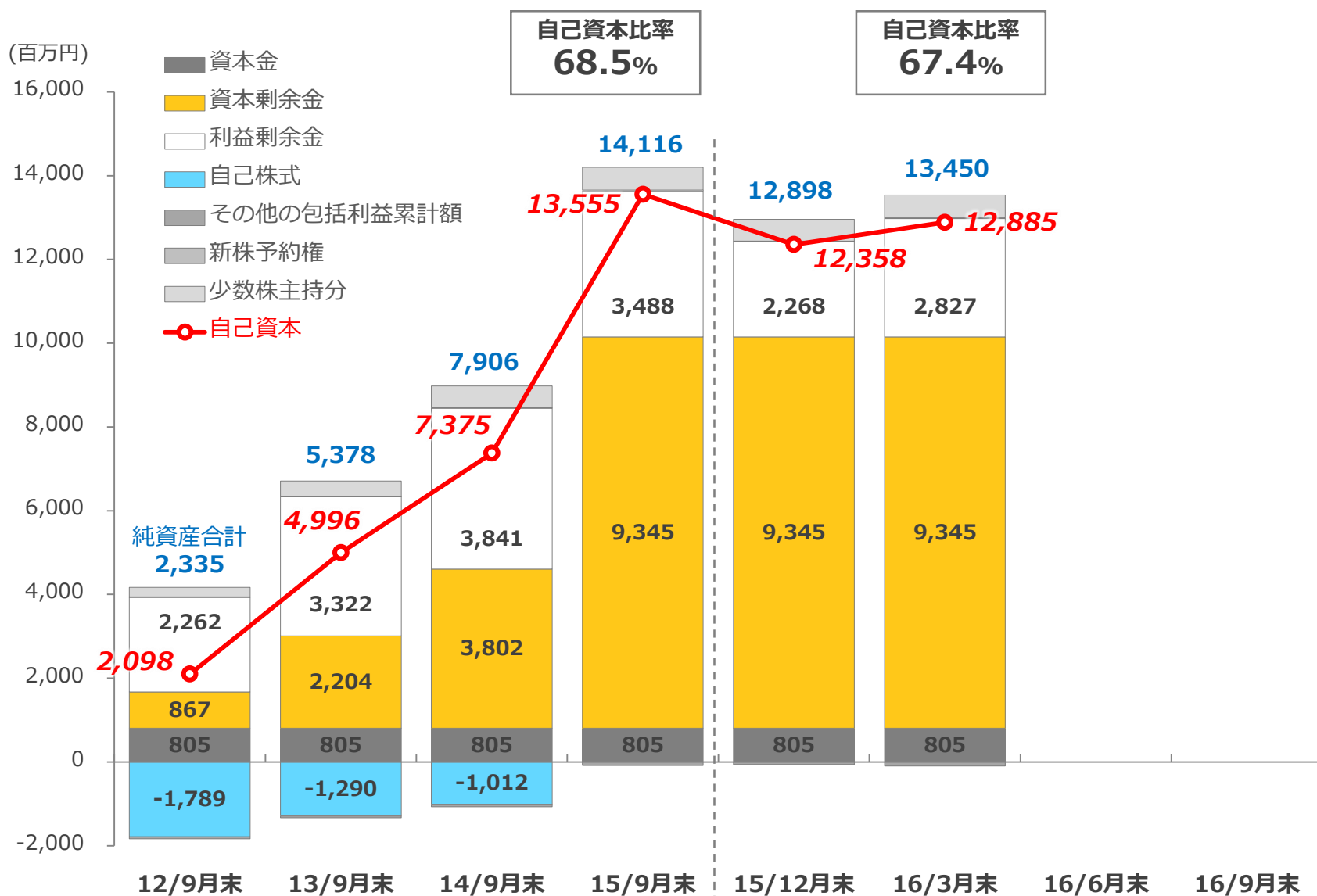
	2015年9月末	2016年3月末	増減額	摘要
資産の部	19,797	19,117	▲679	
流動資産	15,209	14,366	▲843	
現金及び預金	11,460	10,214	▲1,246	配当金の支払いによる減少
受取手形及び売掛金	2,747	3,319	+571	派遣先現場数の増加による増加
繰延税金資産	185	188	+3	
貸倒引当金	▲21	▲22	▲0	
固定資産	4,587	4,751	+163	
有形固定資産	940	1,360	+420	
建物及び構築物	461	586	+164	
機械装置及び運搬具	6	5	▲1	
土地	408	702	+294	社宅の購入による増加
リース資産	37	32	▲5	
無形固定資産	348	321	▲26	
のれん	309	282	▲26	
ソフトウェア	29	25	▲3	
リース資産	4	3	▲1	
投資その他の資産	3,299	3,068	▲230	
投資有価証券	1,771	1,132	▲638	投資有価証券の売却による減少
長期貸付金	21	2	▲18	
繰延税金資産	23	24	+0	
投資不動産	1,118	1,109	▲8	
貸倒引当金	▲52	▲50	+2	

連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2015年9月末	2016年3月末	増減額	摘要
負債の部	5,680	5,667	▲13	
流動負債	4,031	4,289	+258	
買掛金	8	7	▲0	
短期借入金	100	800	+700	運転資金の借入による増加
1年内返済予定の長期借入金	1,005	766	▲239	
未払金	210	233	+23	
未払法人税等	652	379	▲273	法人税の支払いによる減少
未払費用	1,068	1,130	+61	
賞与引当金	299	360	+61	
固定負債	1,649	1,378	▲271	
長期借入金	1,218	956	▲262	
リース債務	31	24	▲6	
退職給付に係る負債	231	247	+15	
純資産の部	14,116	13,450	▲660	
株主資本	13,638	12,978	▲660	
資本金	805	805	—	
資本剰余金	9,345	9,345	—	
利益剰余金	3,488	2,827	▲660	純利益(FY16/Q1+Q2) - FY15期末配当
自己株式	▲0	0	—	
その他の包括利益累計額	▲83	▲93	▲10	
その他有価証券評価差額金	▲73	▲85	▲11	
新株予約権	19	19	+0	
少数株主持分	542	545	+3	

連結B/S (3) 自己資本推移



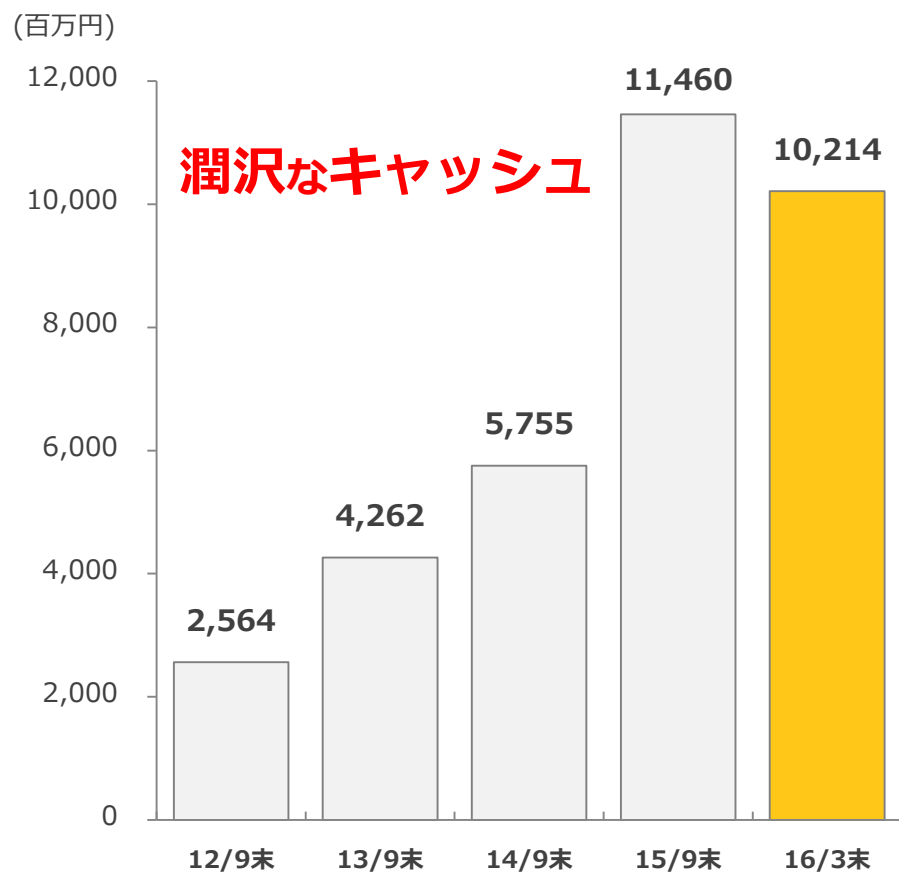
※ 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権

FY2016

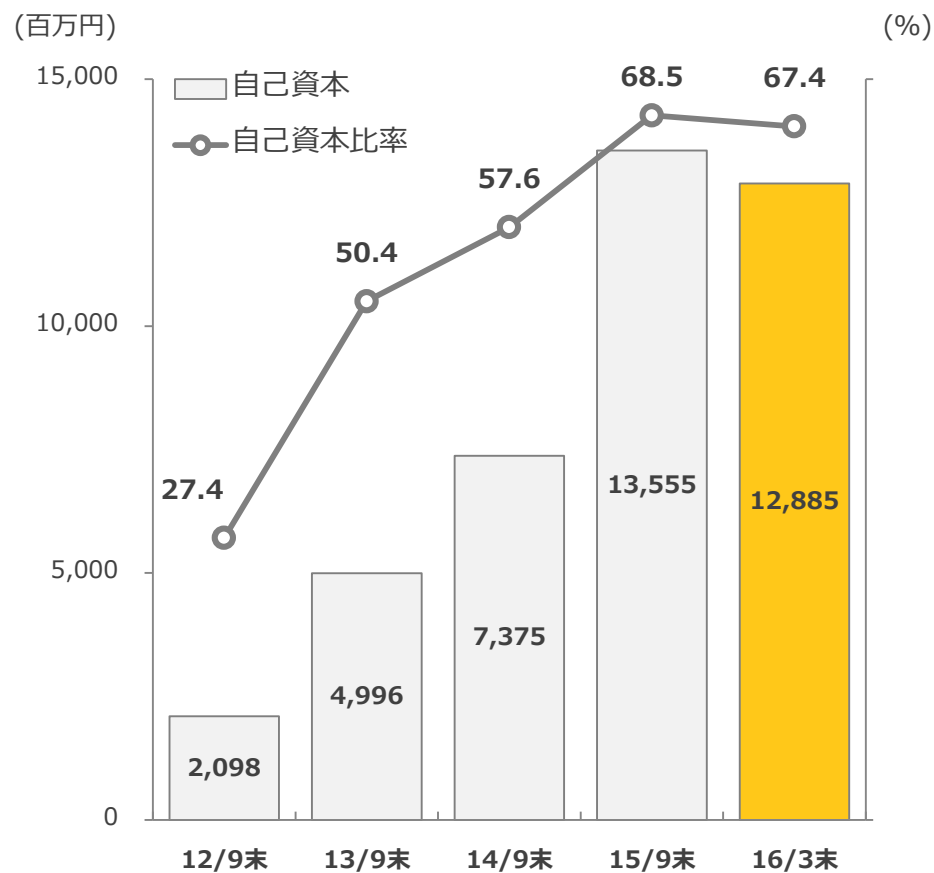
財務指標

財務指標（1）手元流動性・自己資本

手元流動性

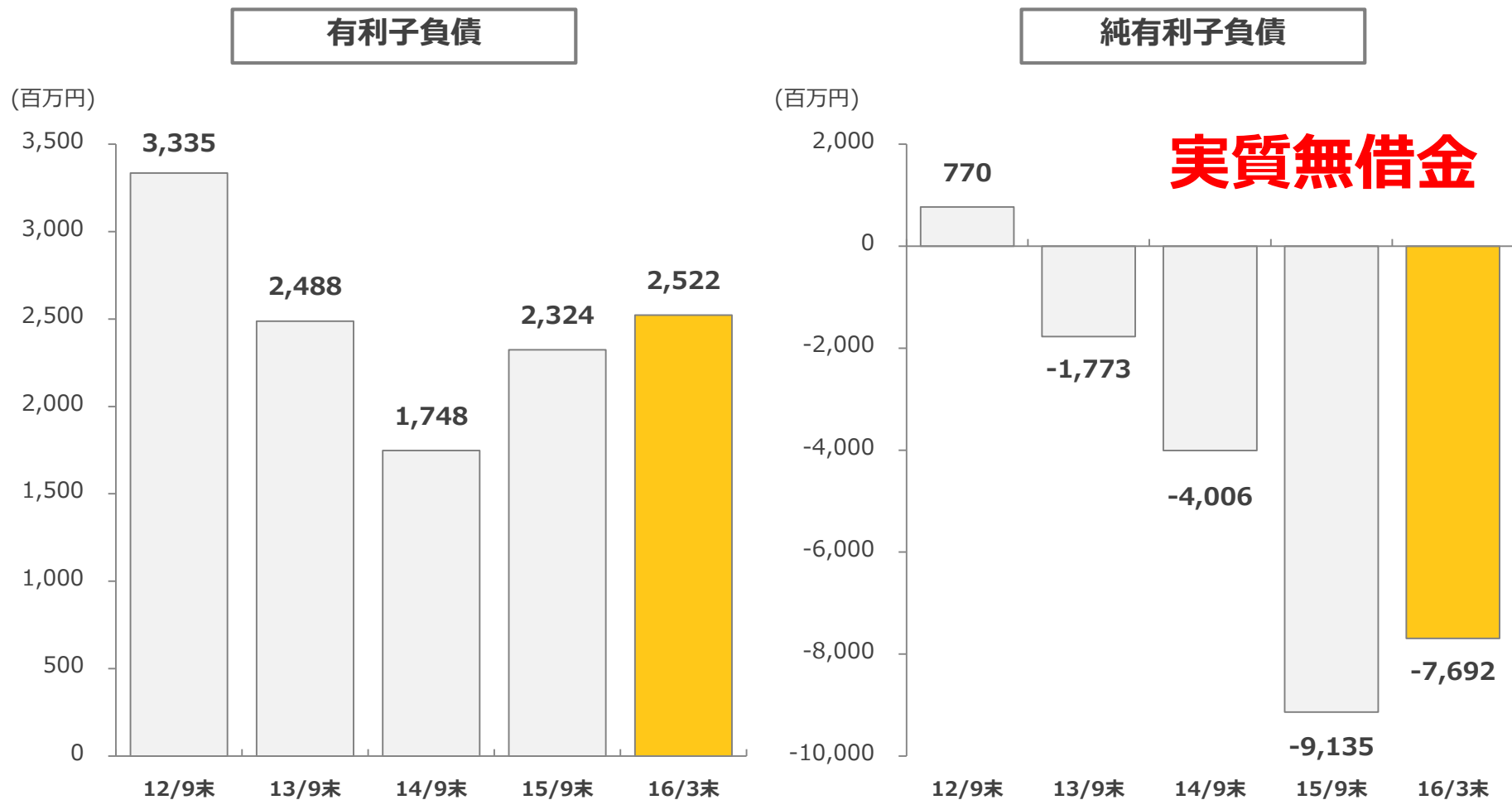


自己資本



- ※ 1. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券
- 2. 自己資本 = 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権
- 3. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

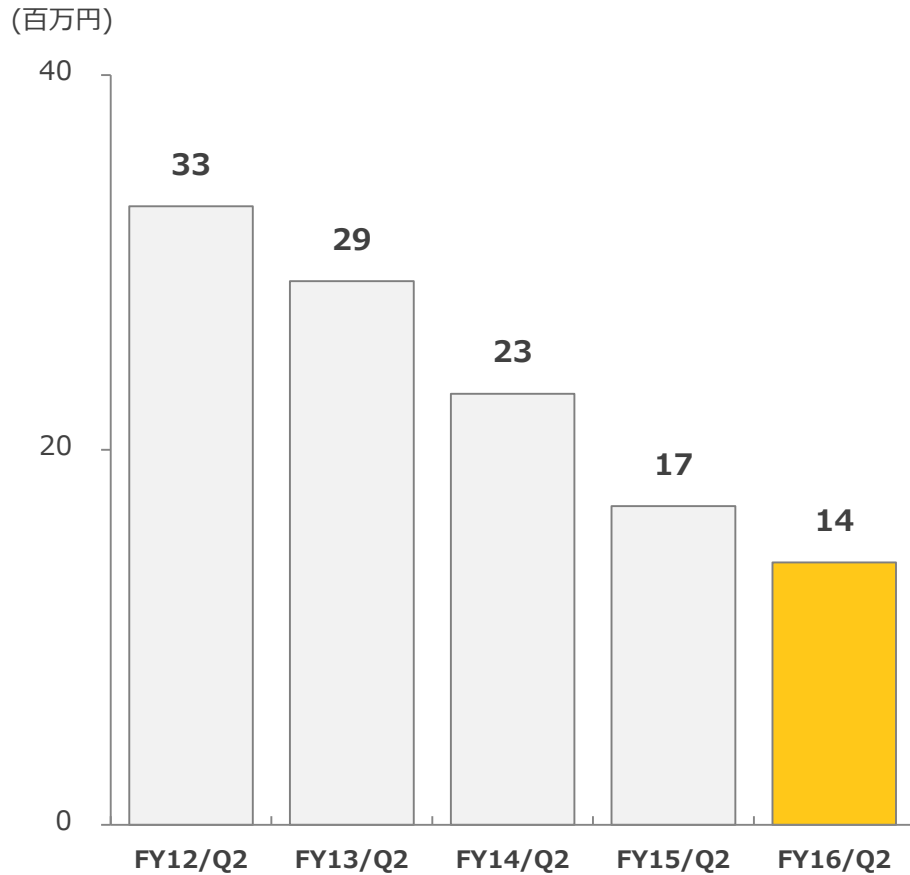
財務指標（2）有利子負債



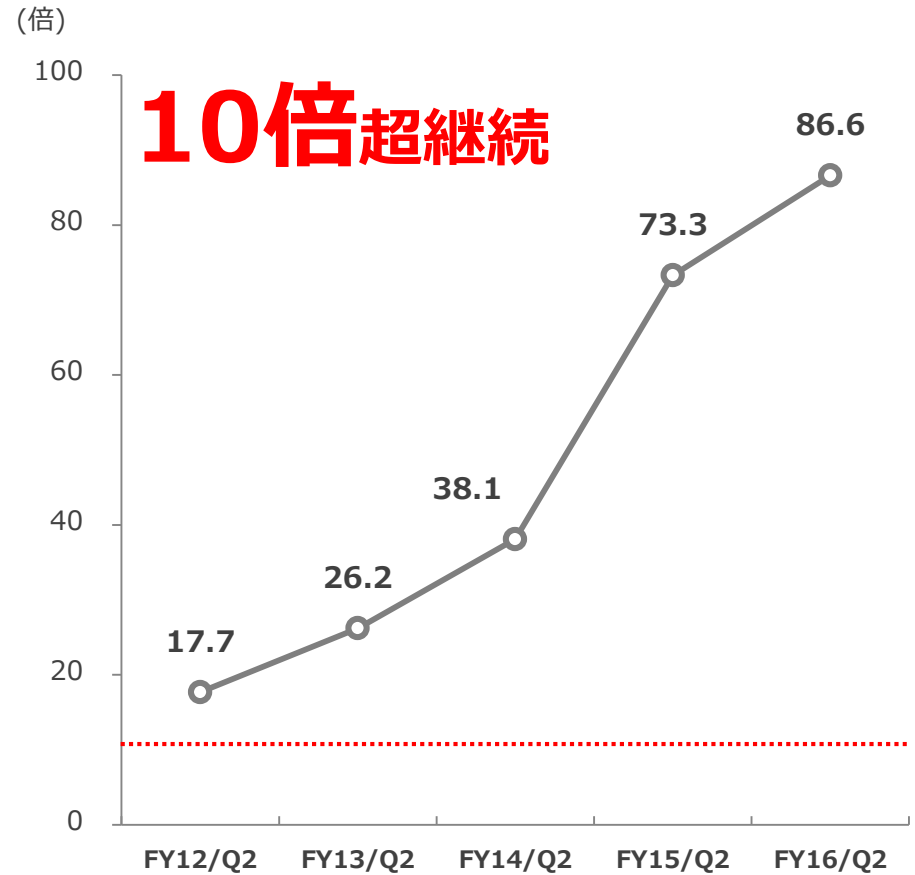
- ※ 1. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債(リース負債含まず)
- 2. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性
- 3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

財務指標 (3) 支払利息・ICR

支払利息

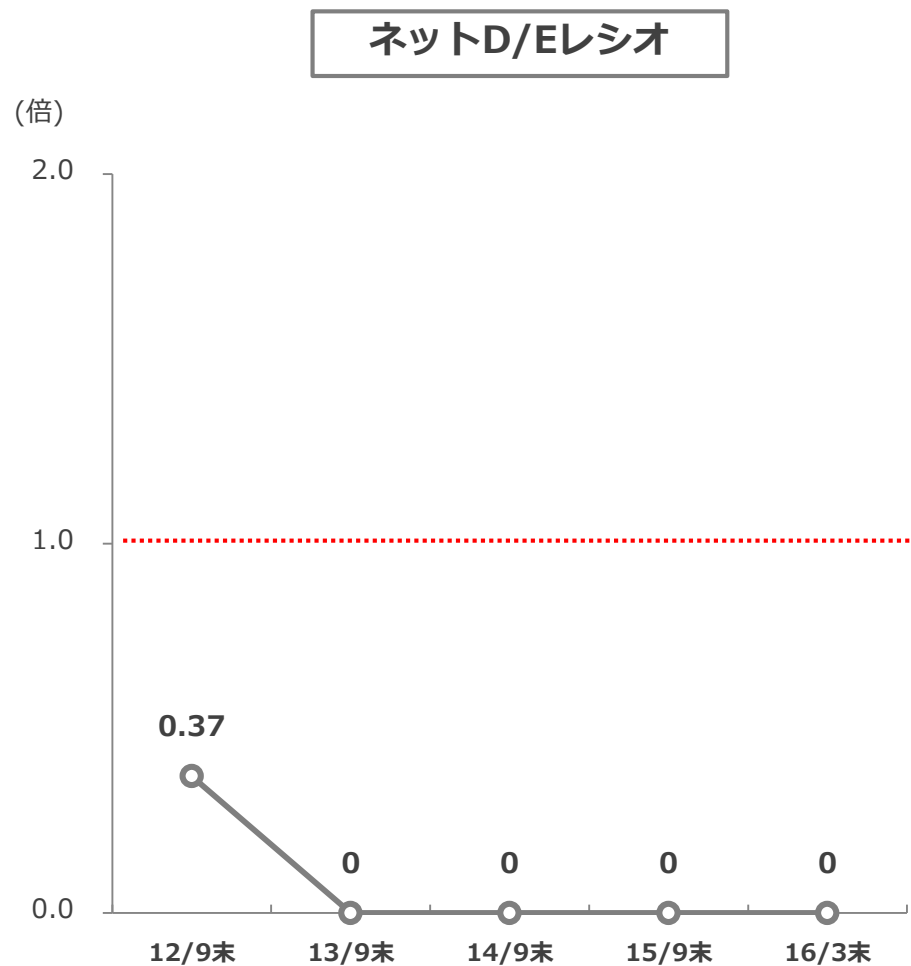
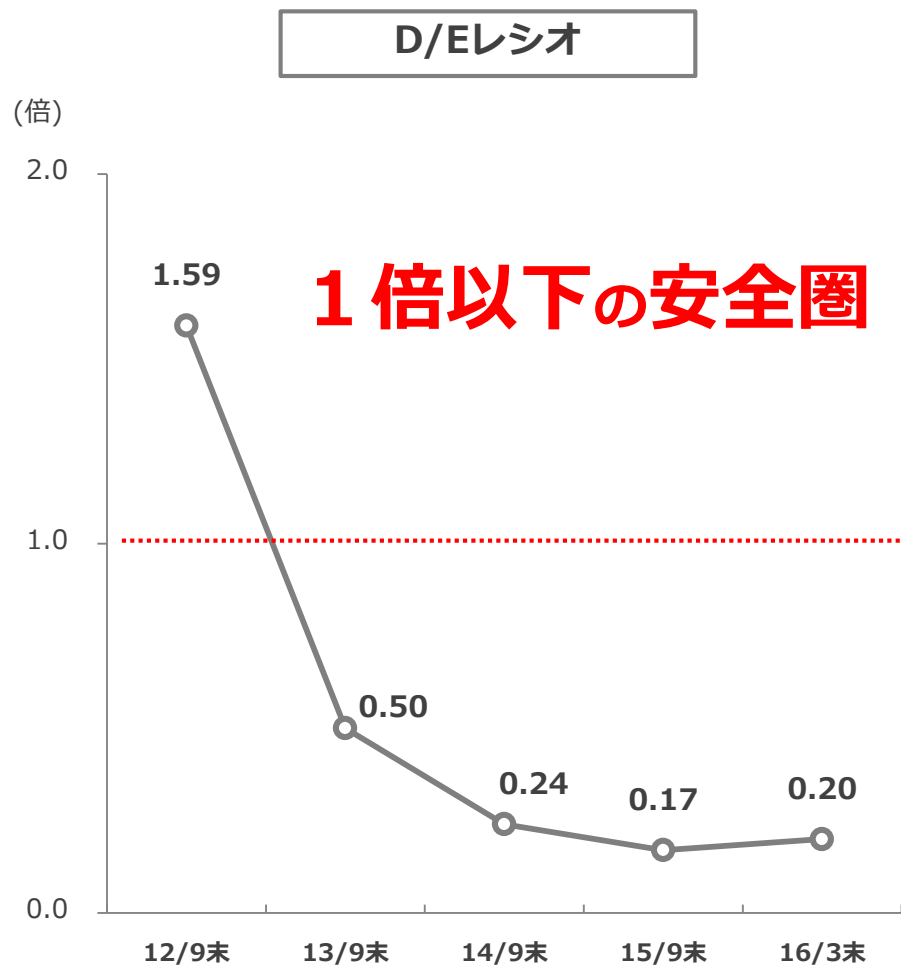


ICR



- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ (ICR) = 事業利益 ÷ 支払利息
- 2. 事業利益 = 営業利益 + 受取利息 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

財務指標 (4) D/Eレシオ



- ※ 1. D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
- 2. ネットD/Eレシオ = 純有利子負債 ÷ 自己資本
- 3. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性
- 4. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債(リース負債含まず)
- 5. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

財務指標 サマリー

(百万円)

	'15年9月末	'16年3月末	増減
自己資本	13,555	12,885	▲670
自己資本比率	68.5%	67.4%	▲1.1pt.
手元流動性	11,460	10,214	▲1,246
有利子負債	2,324	2,522	+197
D/Eレシオ	0.17倍	0.20倍	+0.02pt.

セグメント別概要

建築技術者派遣事業

TOPIC

1. **20四半期連続 2桁増収**
2. **派遣単価 順調に回復**
3. **売上総利益率 30%水準へ**

売上構成4指標

技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

技術者数（1）採用実績

- 4～6月の建設業界における端境期にて派遣単価を維持するため3月に採用人数を抑制
- 5月以降は毎月200人ペースで採用予定

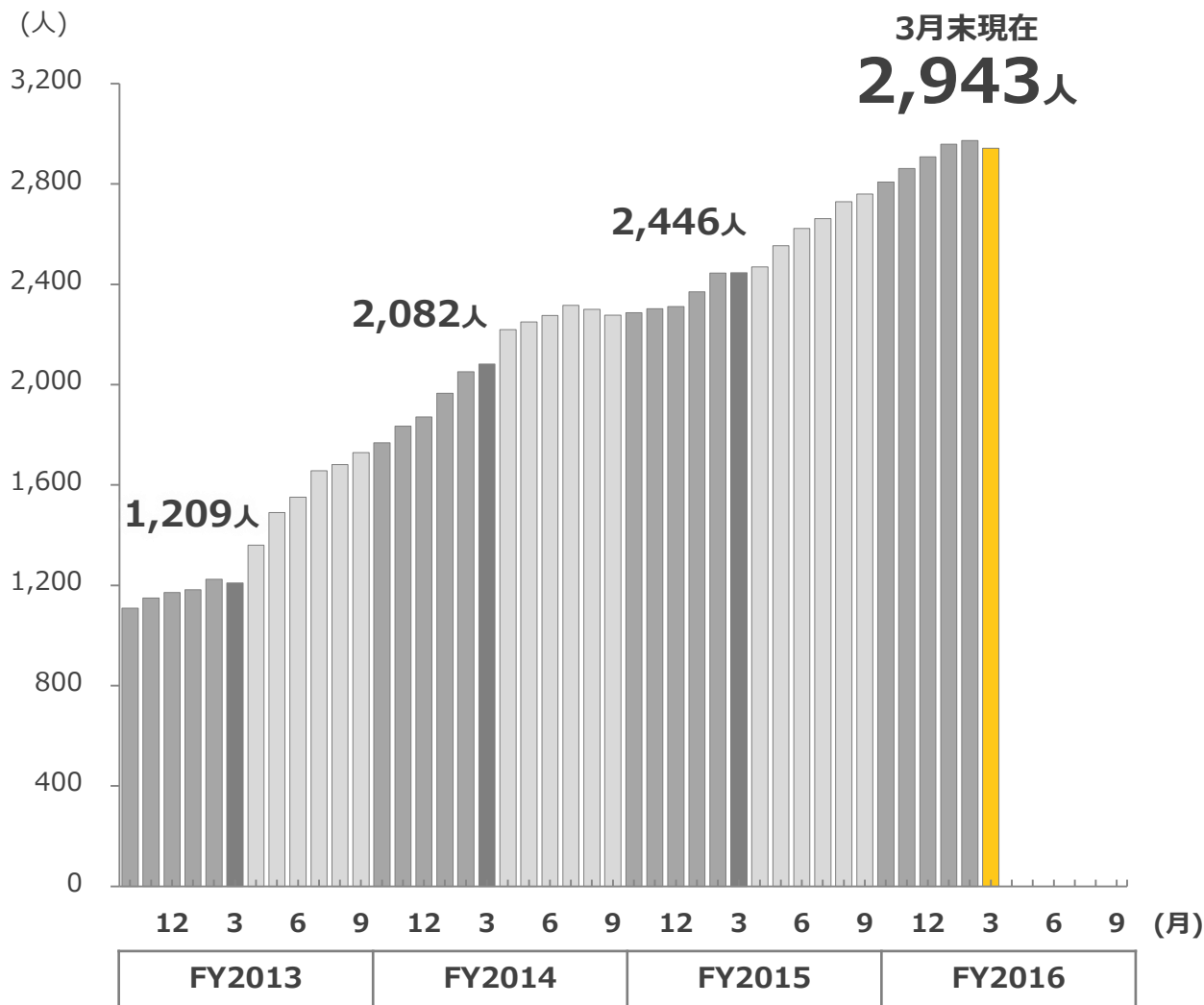
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY16 採用計画	500			500			1,000
FY16 採用実績	458			460			918
計画差異	▲42			▲40			▲82
FY15 採用実績	269			436			705

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY16 採用計画	530			470			1,000	2,000
FY16 採用実績								
計画差異								
FY15 採用実績	534			463			997	1,702

技術者数（2） 在籍人数の推移

■ 前年同月末比 497人増加 (+20.3%)



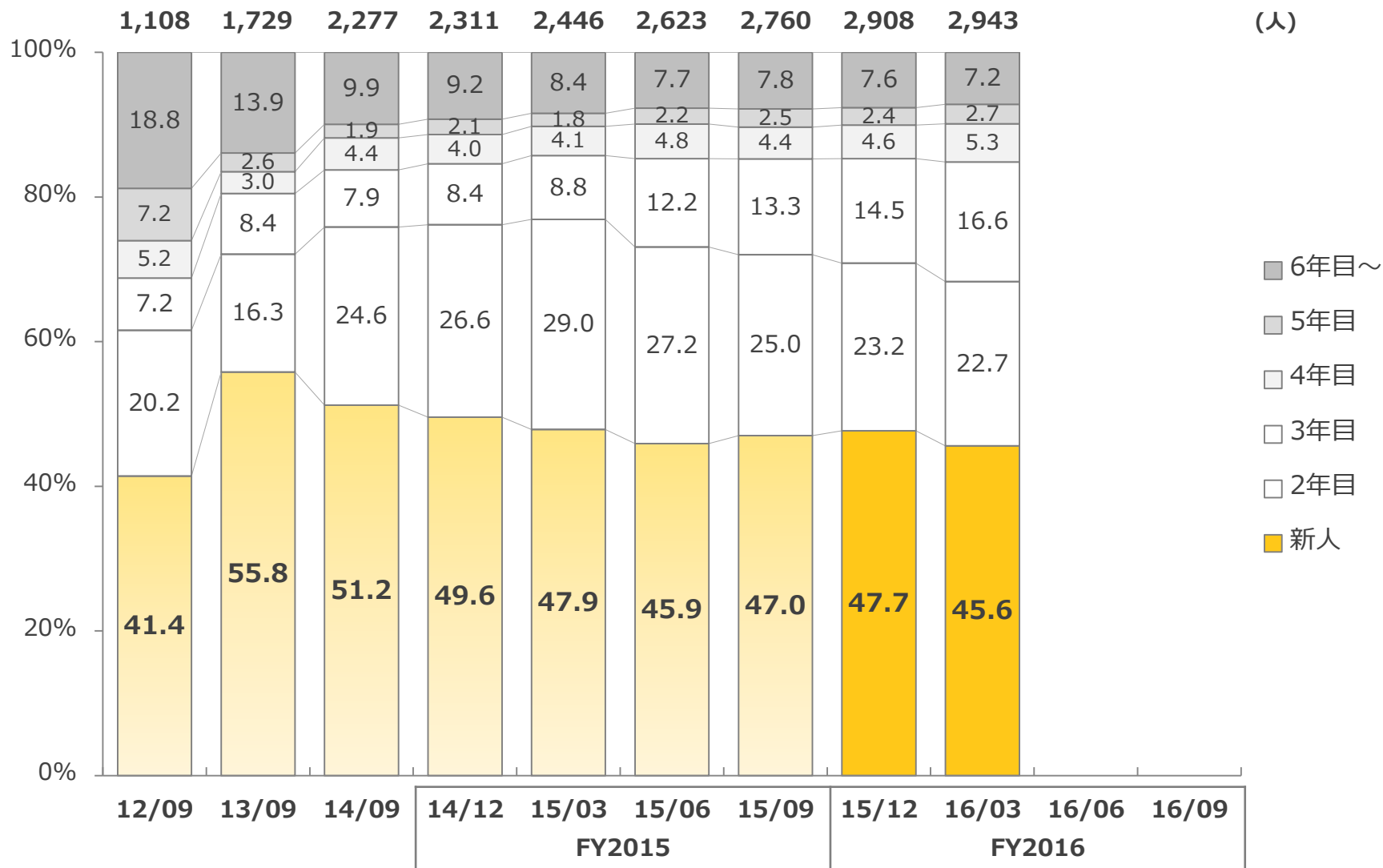
平均技術者数
6ヶ月平均 (10~3月)

年度	平均技術者数	YoY
FY13/Q2	1,174人	
FY14/Q2	1,929人	64.3%
FY15/Q2	2,360人	22.4%
FY16/Q2	2,909人	23.3%

※ 各月末技術者数

技術者数 (3) 在籍年数別の割合

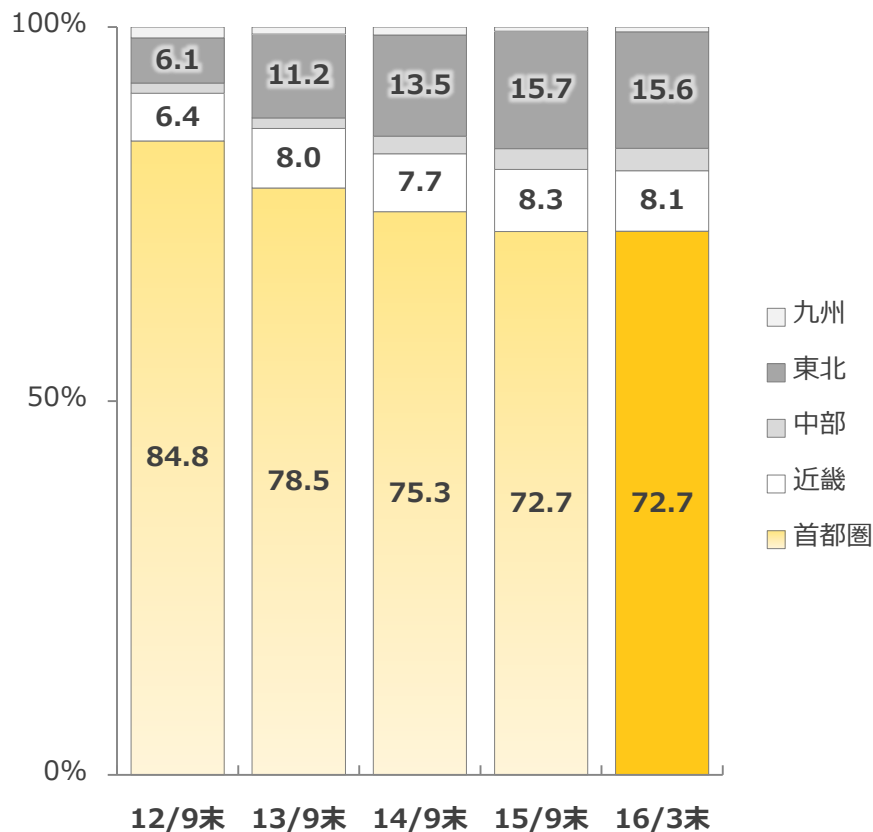
■ 大量採用開始から4年目に ⇒ 経験3年目の技術者が順調に増加



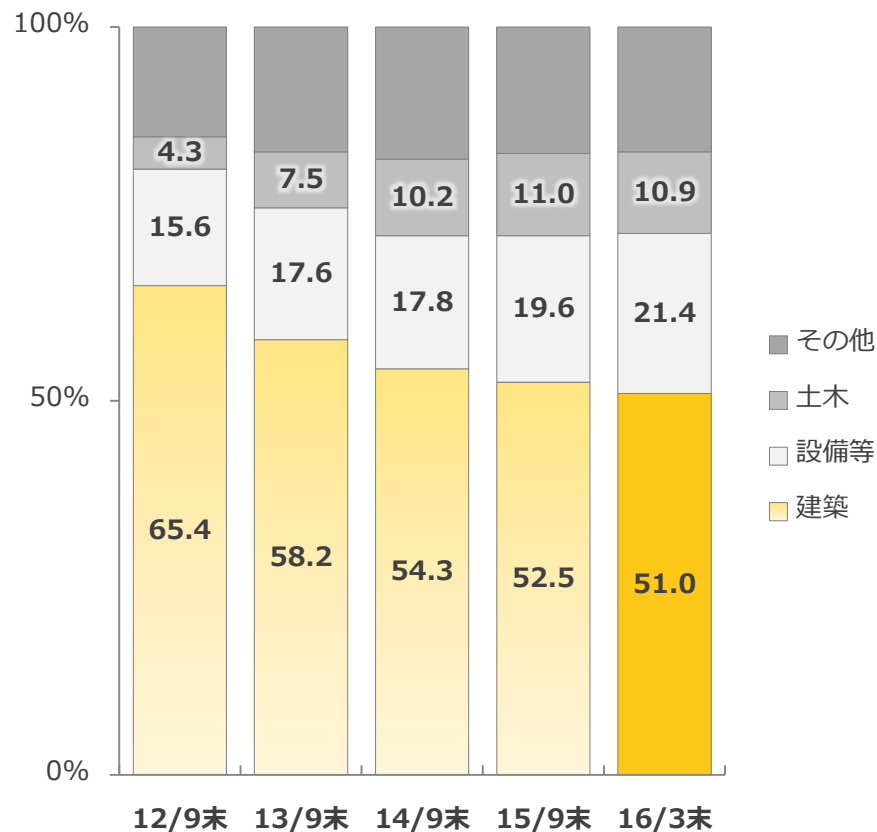
技術者数（４）派遣地域・業種別の割合

- 引き続き首都圏・東北地方が牽引
- 若手技術者を積極活用する電気・空調設備が続伸

地域別の割合

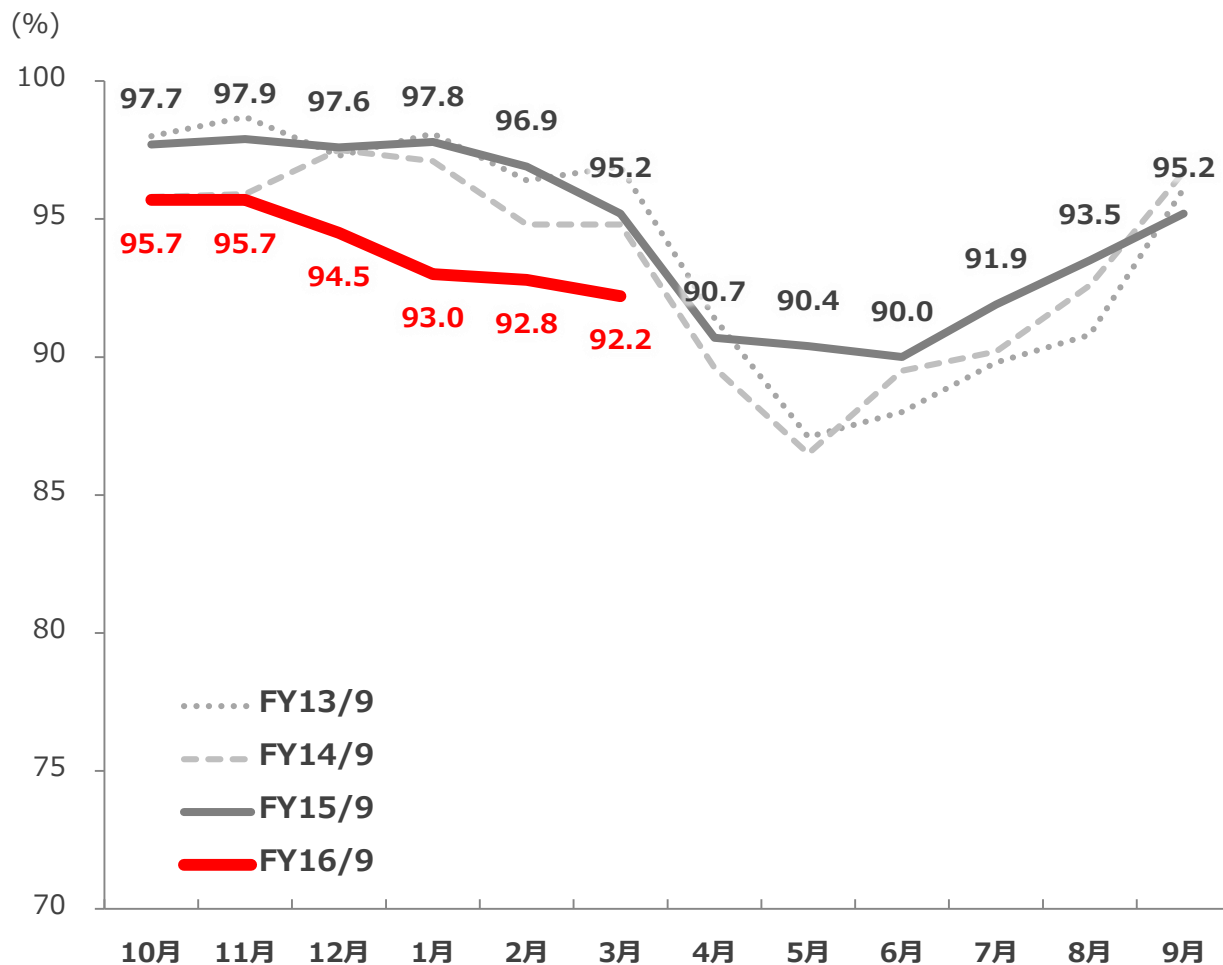


業種別の割合



稼働率

■ 採用が好調のため稼働率は低下



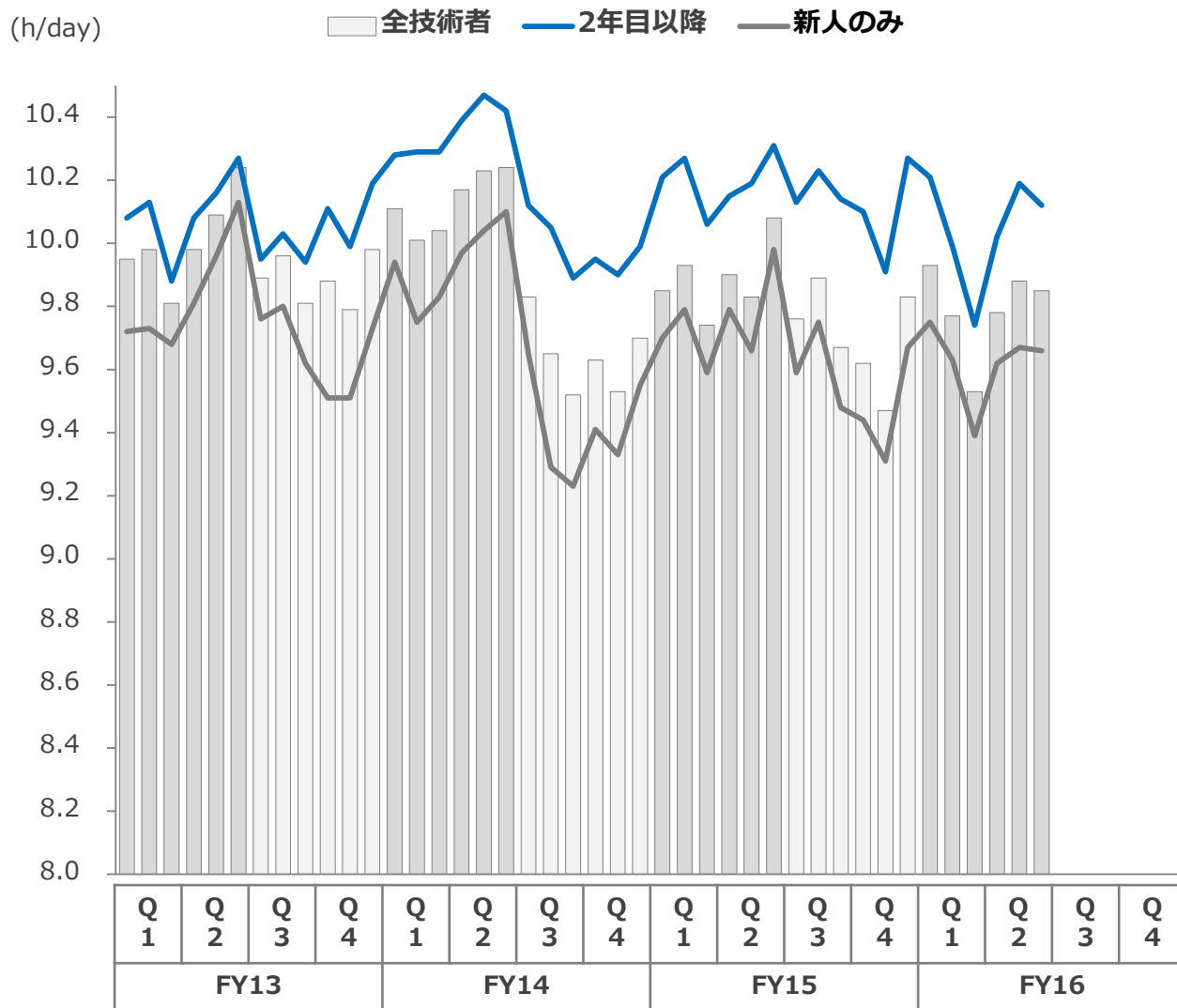
稼働率
6ヶ月平均 (10~3月)

FY13/Q2	97.6%	YoY
FY14/Q2	96.0%	▲1.6pt.
FY15/Q2	97.2%	+1.2pt.
FY16/Q2	94.0%	▲3.2pt.

Q1	Q2	Q3	Q4
----	----	----	----

稼働時間

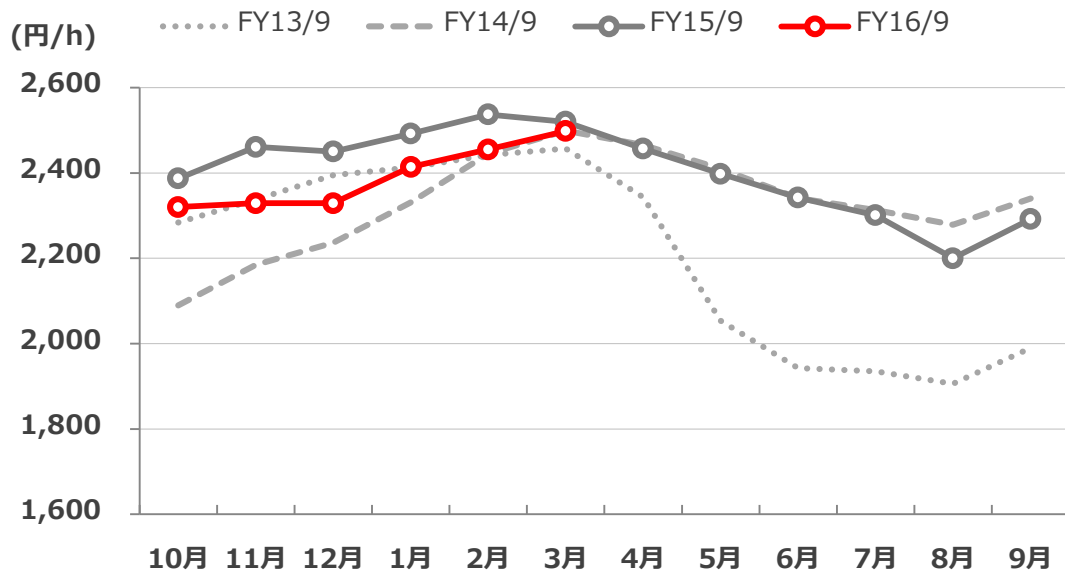
■ 労務管理により10h/dayに安定



全技術者 稼働時間
6ヶ月平均 (10~3月)

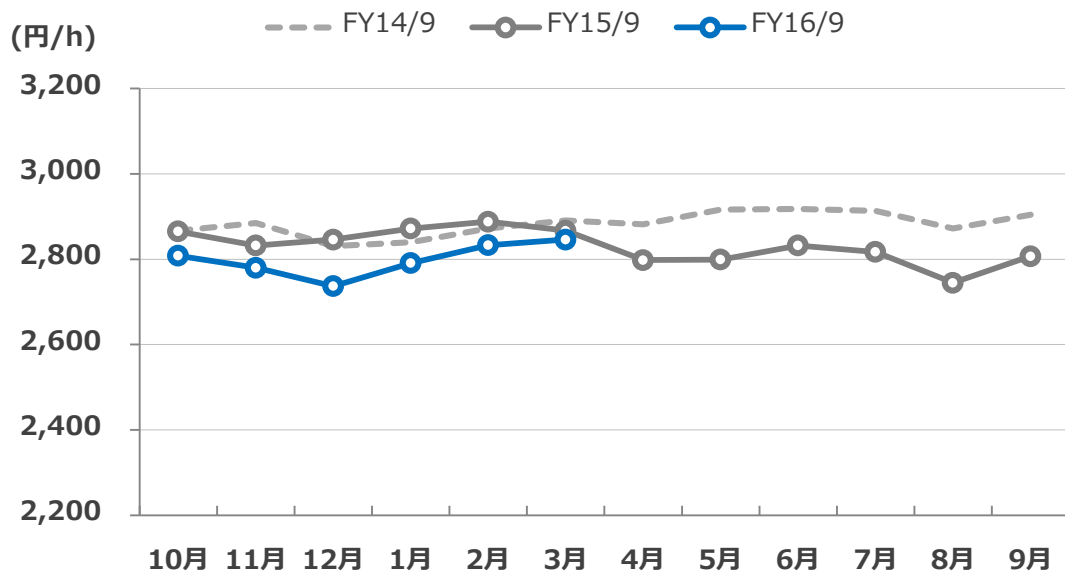
FY13/Q2	10.01h	YoY
FY14/Q2	10.13h	+1.2%
FY15/Q2	9.89h	▲2.4%
FY16/Q2	9.79h	▲1.0%

派遣単価（１） 新人・2年目の推移



新人のみ

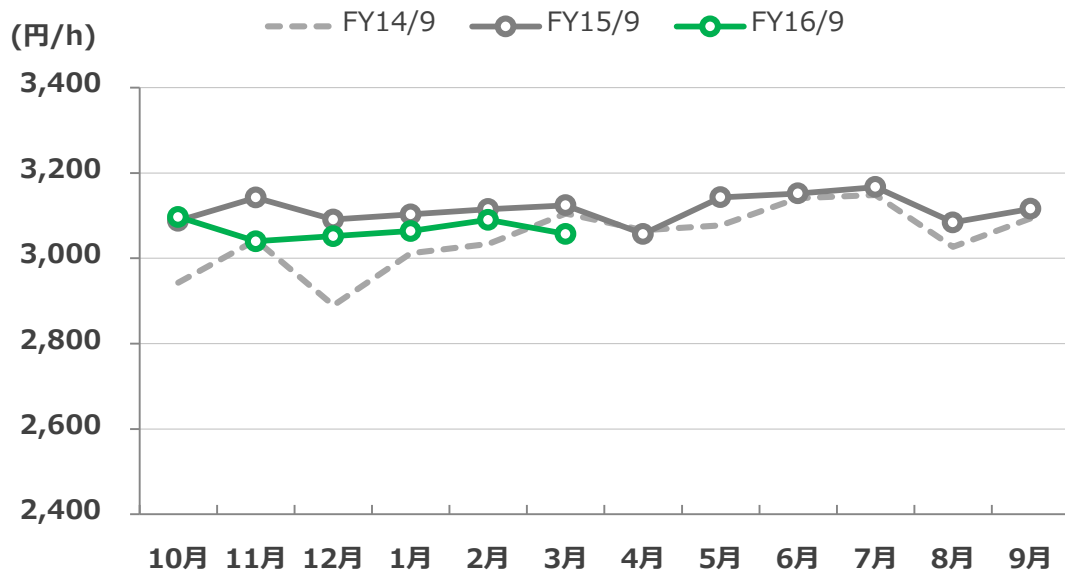
Fiscal Year	Hourly Wage (円/h)	YoY Change
FY13/Q2	2,388	YoY
FY14/Q2	2,298	▲3.8%
FY15/Q2	2,475	+7.7%
FY16/Q2	2,391	▲3.4%



2年目のみ

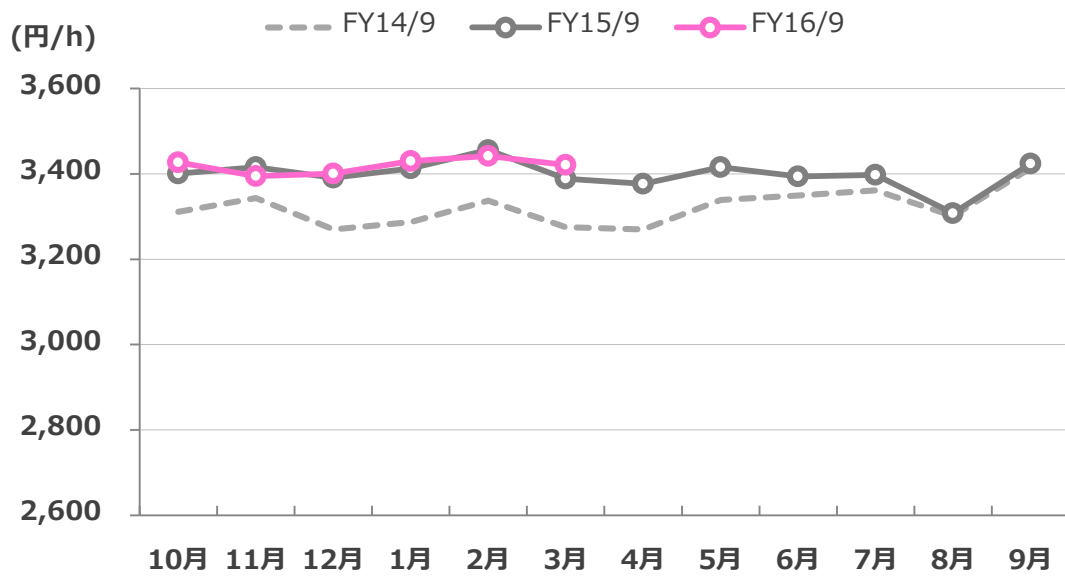
Fiscal Year	Hourly Wage (円/h)	YoY Change
FY14/Q2	2,864	YoY
FY15/Q2	2,862	▲0.1%
FY16/Q2	2,799	▲2.2%

派遣単価（2）3年目・4年目以降の推移



3年目のみ

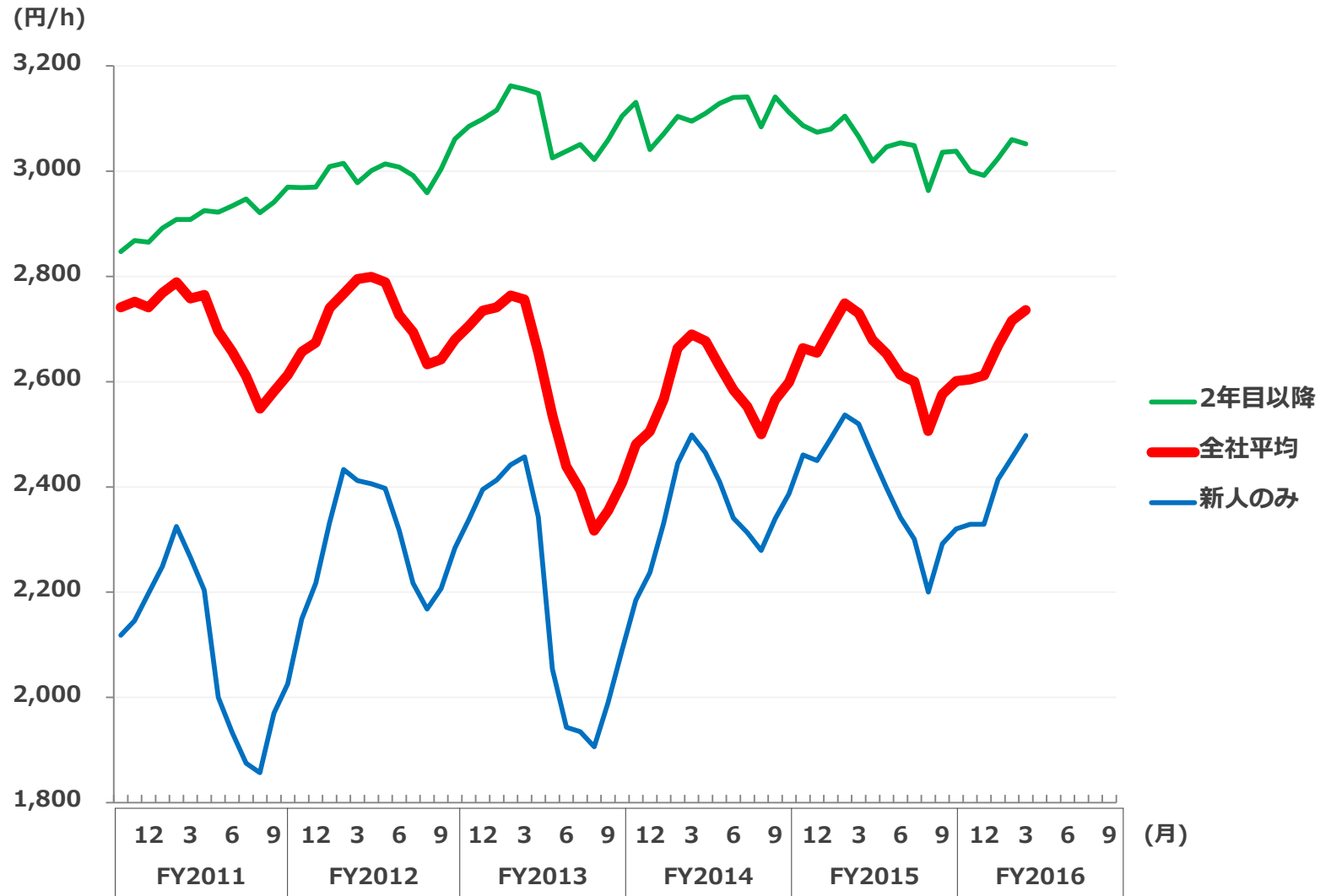
年次	単価 (円/h)	YoY
FY14/Q2	3,005	YoY
FY15/Q2	3,111	+3.5%
FY16/Q2	3,067	▲1.4%



4年目以降

年次	単価 (円/h)	YoY
FY14/Q2	3,304	YoY
FY15/Q2	3,411	+3.2%
FY16/Q2	3,419	+0.2%

派遣単価 (3) 中期推移



全社平均/Q2	2,758	2,708	2,730	2,552	2,683	2,656
YoY		▲1.8%	+0.8%	▲6.5%	+5.1%	▲1.0%

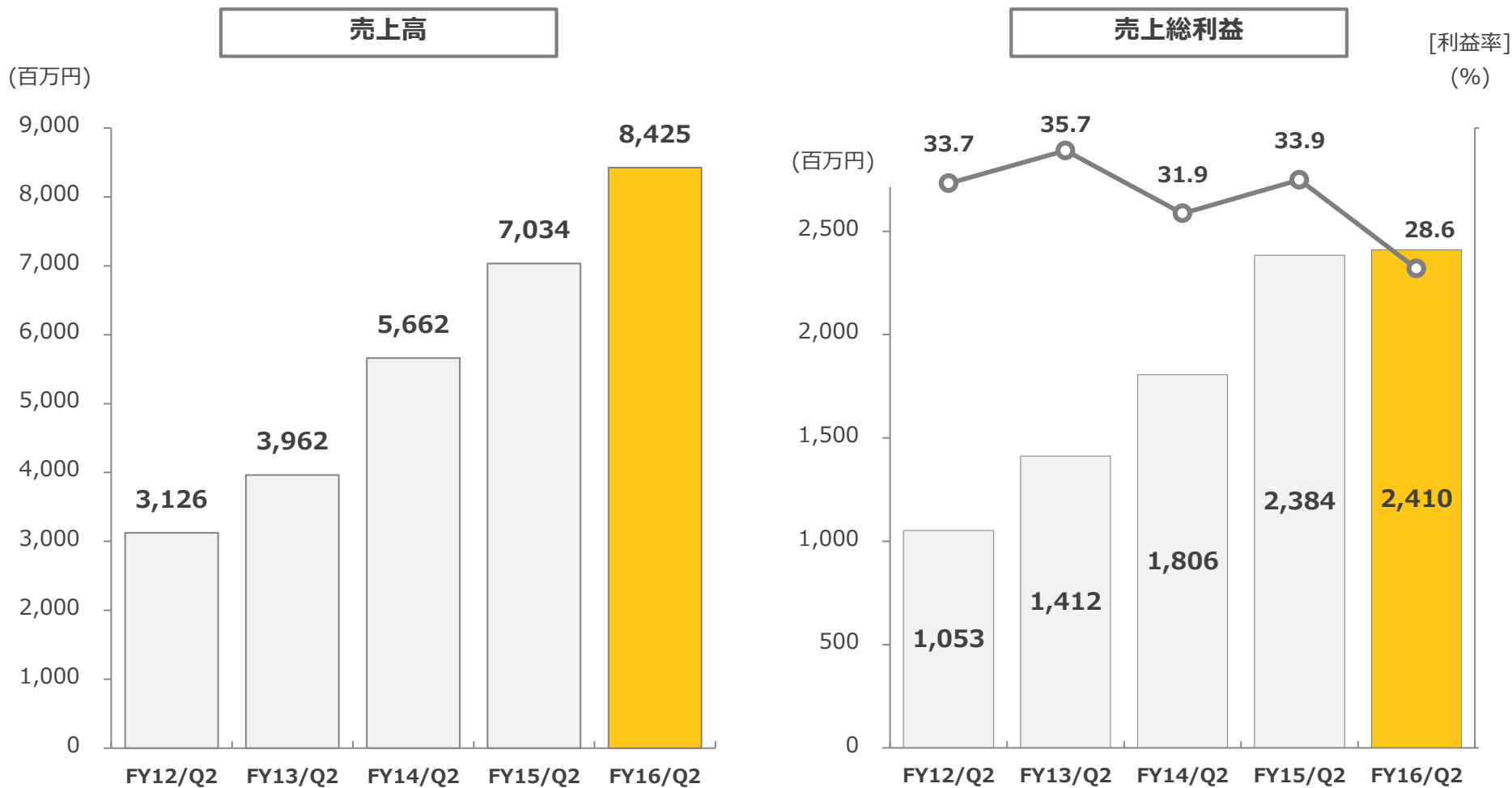
売上構成4指標 サマリー

全技術者 6ヶ月平均 (10~3月)

	FY15/Q2	FY16/Q2	増減	増減率
技術者数	2,360人	2,909人	+549人	+23.3%
稼働率	97.2%	94.0%	▲3.2pt.	—
稼働時間	9.90h	9.77h	▲0.13h	▲1.3%
派遣単価	2,683yen	2,656yen	▲27yen	▲1.0%

単体P/L (1) 売上高・売上総利益 (累計)

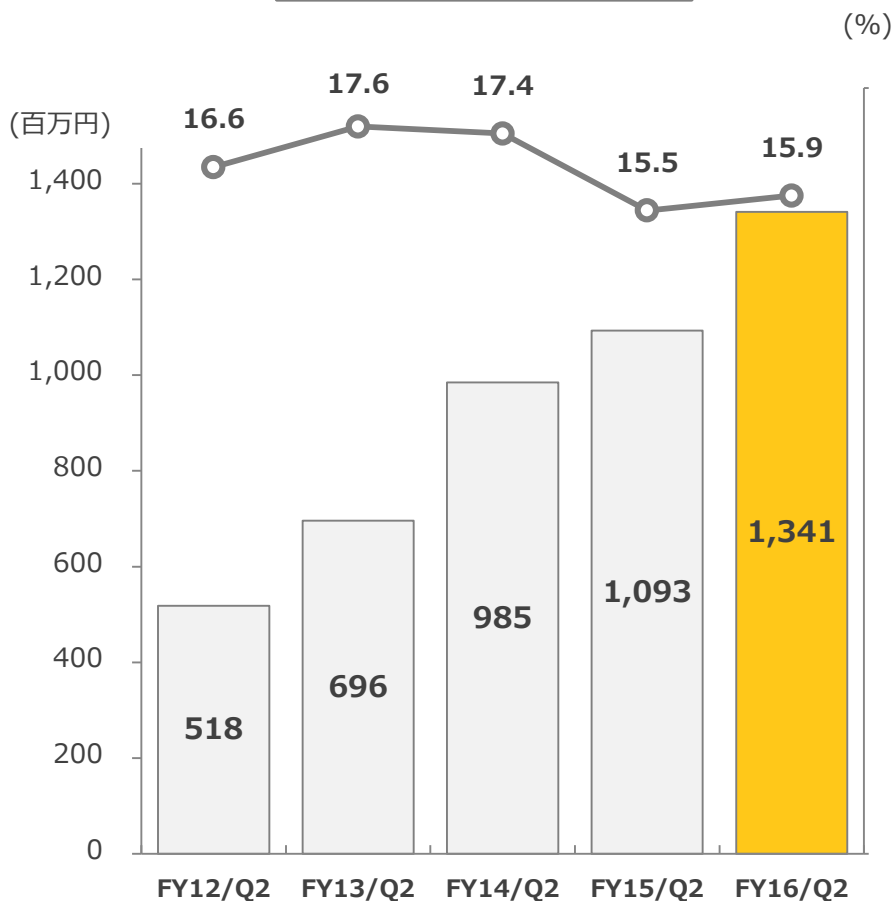
- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 20%増収
- 売上総利益 ⇒ 期間限定の低単価派遣による影響が残るも増益へ



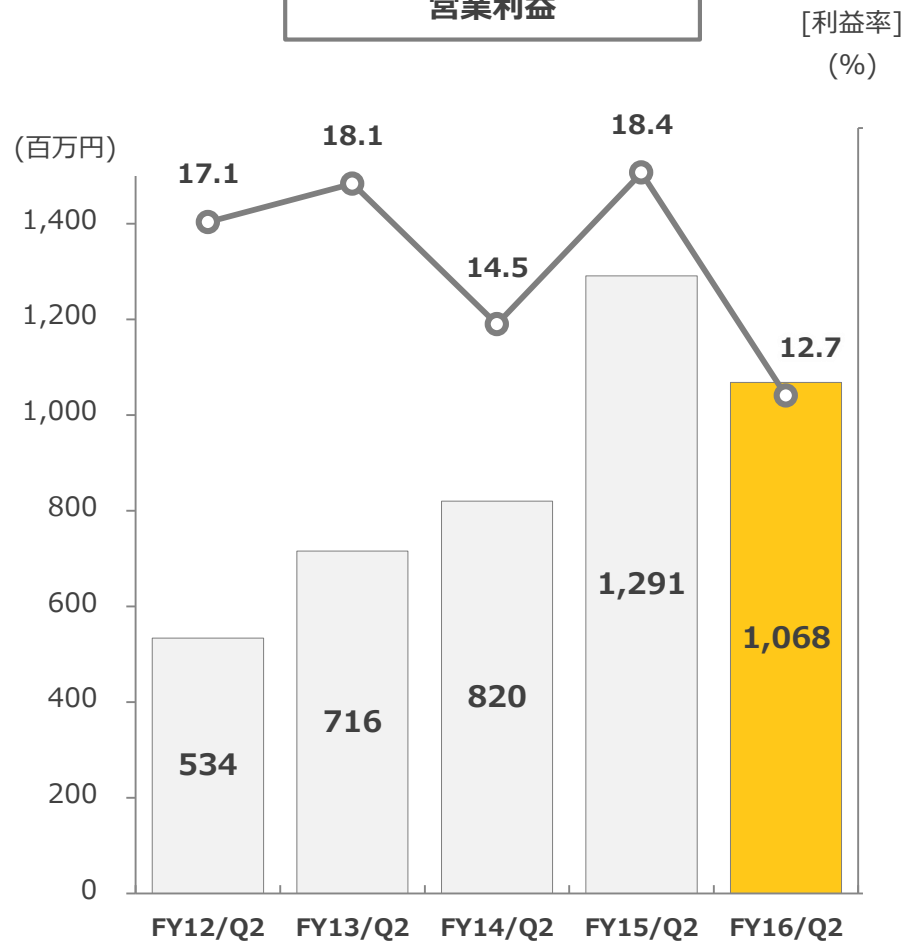
単体P/L (2) 販管費・営業利益 (累計)

■ 営業利益 ⇒ 売上総利益率の低下+採用コストの増加により17%の減益に

販売費及び一般管理費

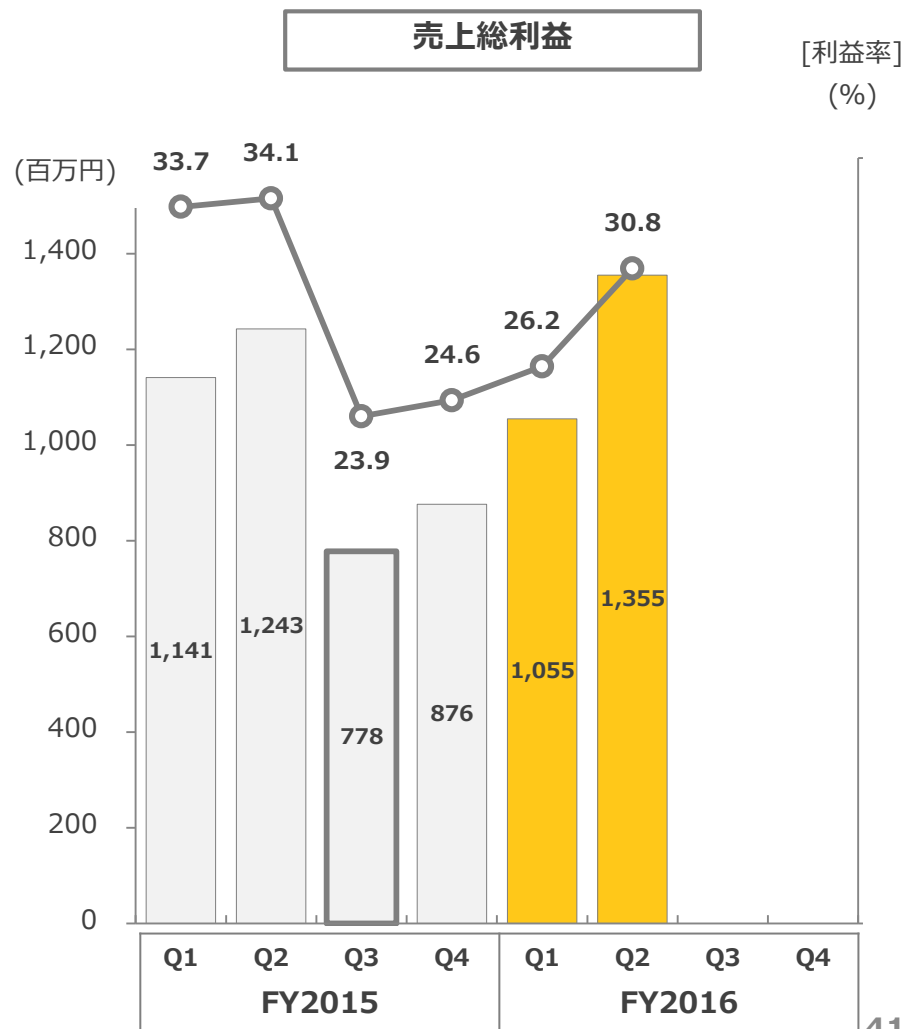
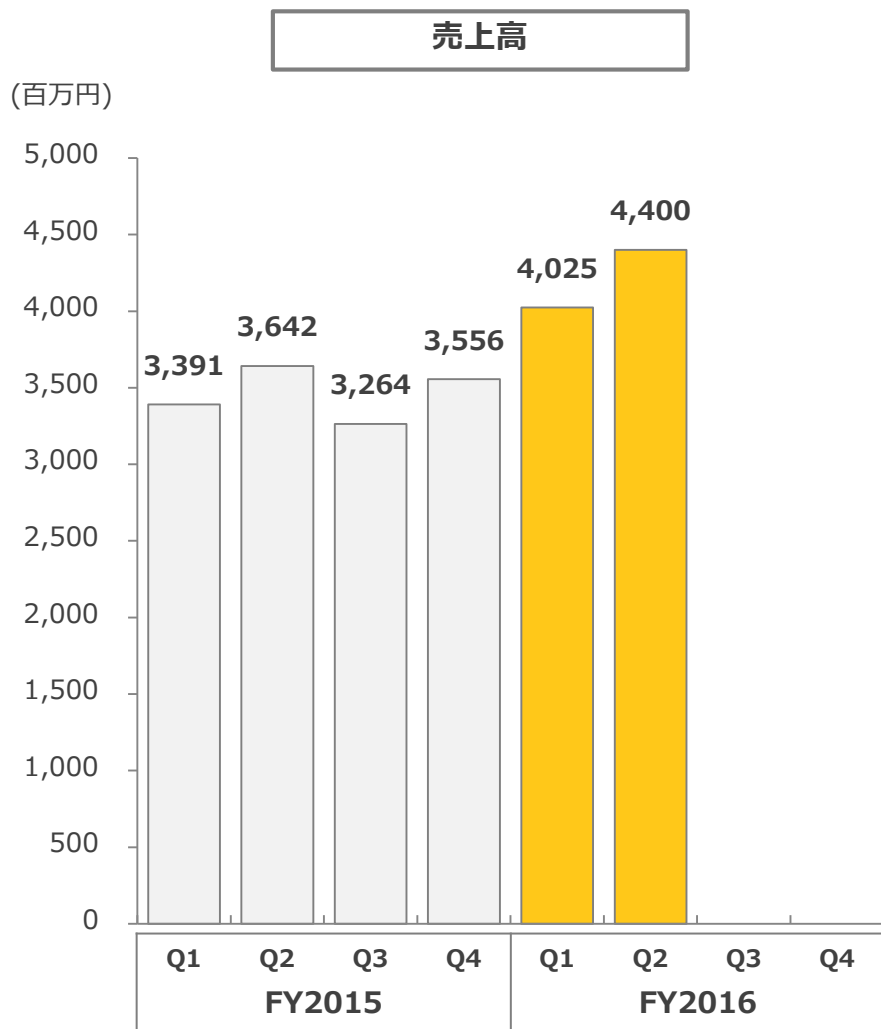


営業利益



単体P/L (3) 売上高・売上総利益 (四半期)

- 売上高 ⇒ 技術者の増員により20四半期連続で前年同期比2ケタ増収
- 売上総利益 ⇒ FY15/Q3からの単価低下による利益率の落ち込みから順調に回復

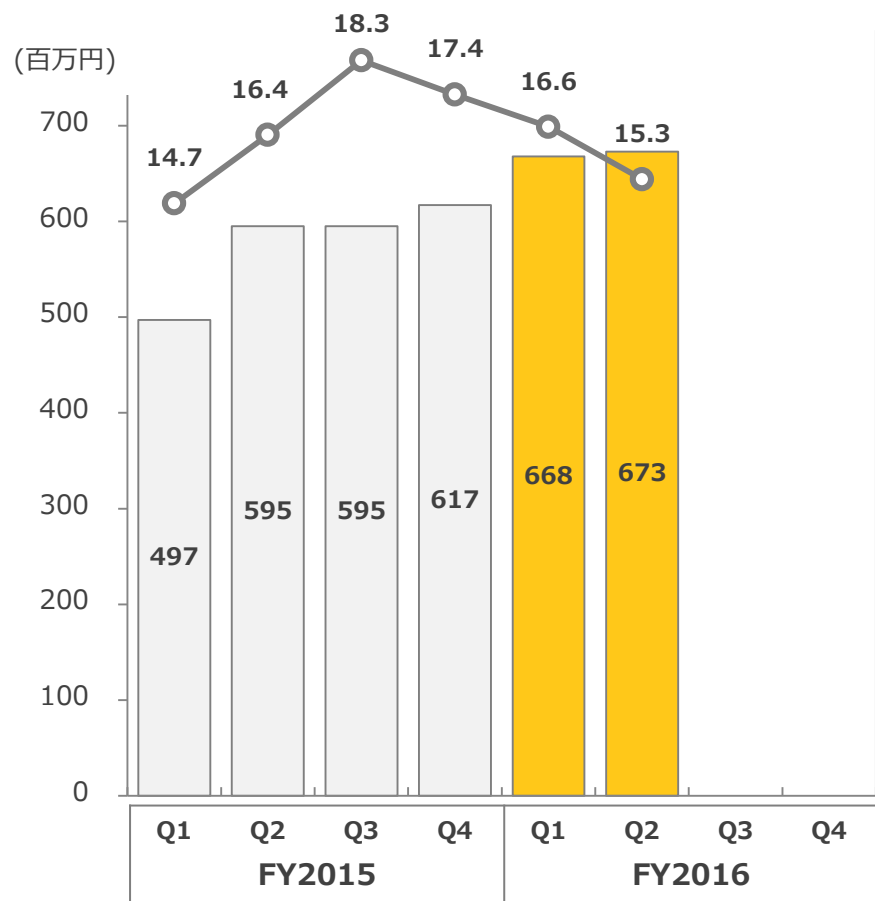


単体P/L (4) 販管費・営業利益 (四半期)

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 採用費増加も売上高販管比率は適切にコントロール
- 営業利益 ⇒ 売上総利益の改善でFY15/Q3での落ち込みから大きく回復

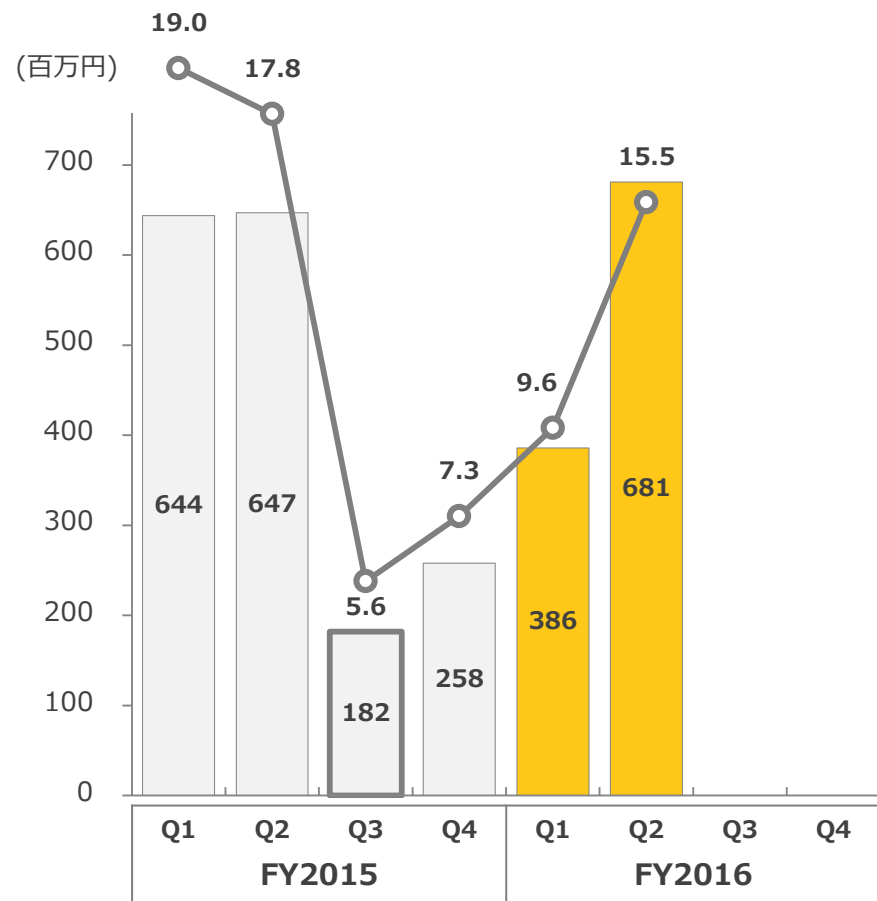
販売費及び一般管理費

(%)



営業利益

[利益率]
(%)



単体 P/L サマリー

(百万円)

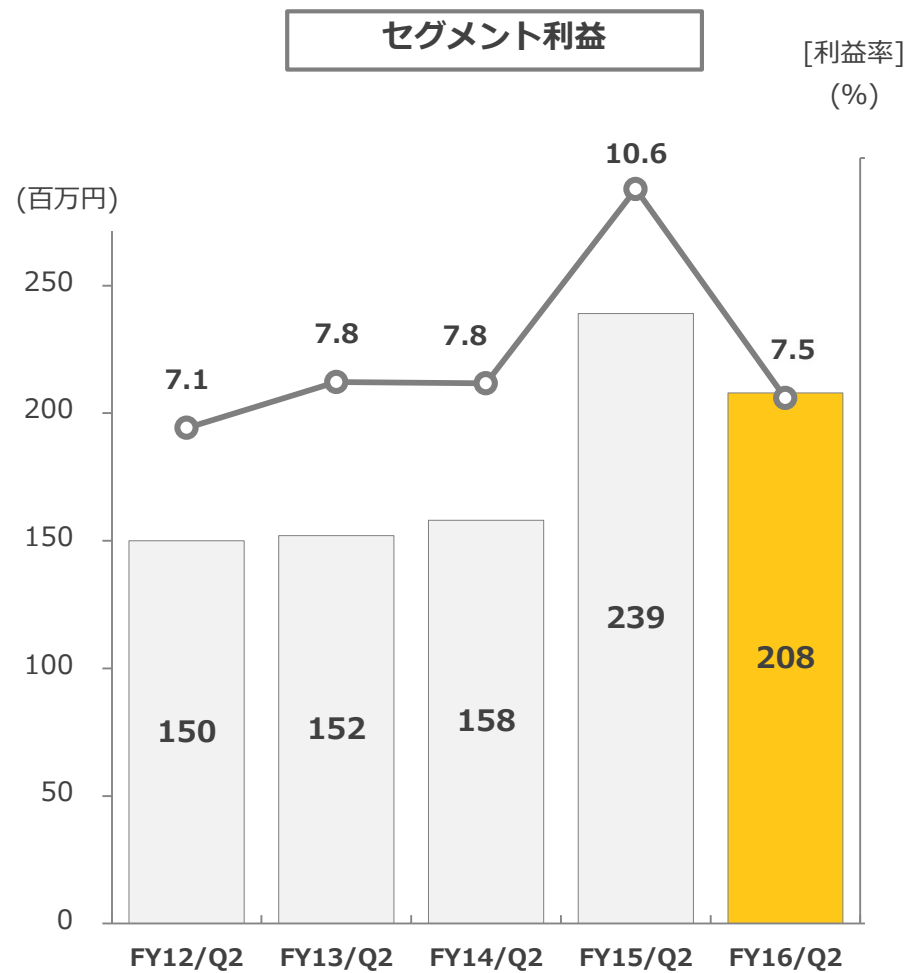
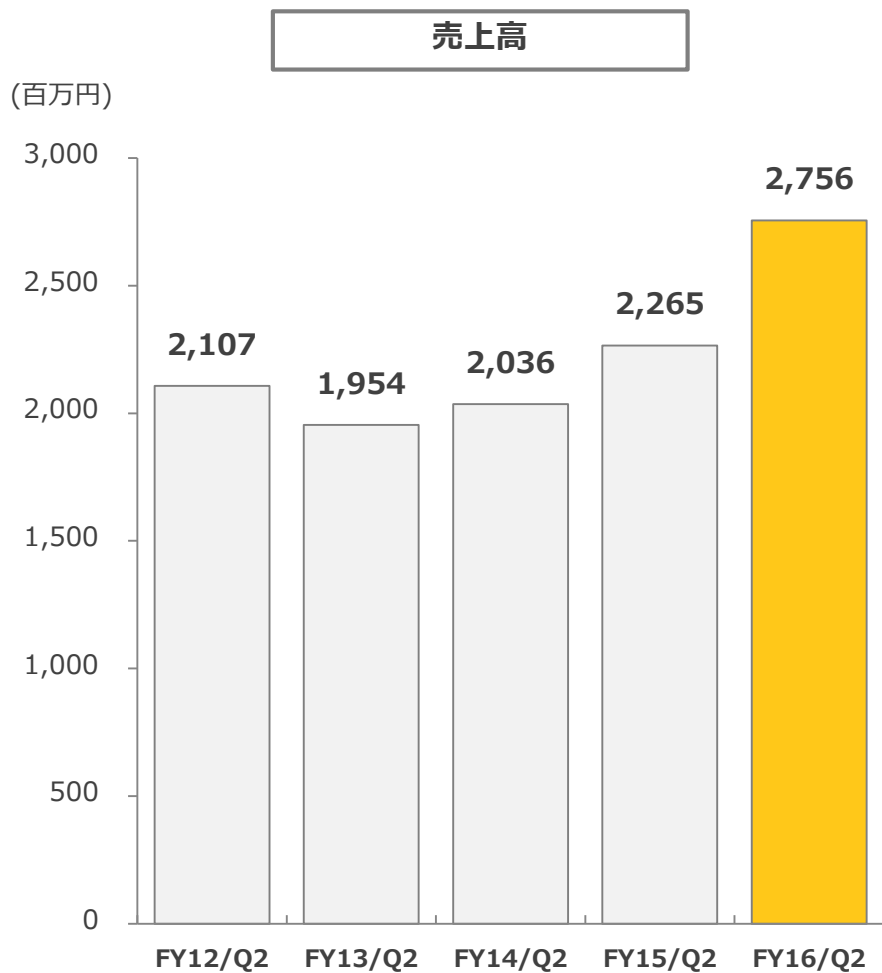
	FY15/Q2	FY16/Q2	増減額	増減率
売上高	7,034	8,425	+1,391	+19.8%
売上総利益	2,384 (33.9%)	2,410 (28.6%)	+25	+1.1%
販売費及び一般管理費	1,093 (15.4%)	1,341 (15.9%)	+248	+22.7%
営業利益	1,291 (18.4%)	1,068 (12.7%)	▲223	▲17.3%
経常利益	1,403 (20.0%)	1,189 (14.1%)	▲213	▲15.2%
四半期純利益	856 (12.2%)	878 (10.4%)	+22	+2.6%

※ () = 売上高比率

エンジニア派遣事業

エンジニア派遣事業 (1) サマリー

- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 22%増収
- セグメント利益 ⇒ 採用費の増加により減益



エンジニア派遣事業（2）採用実績

■ 年間採用目標500人 前年同期比で2.4倍の実績

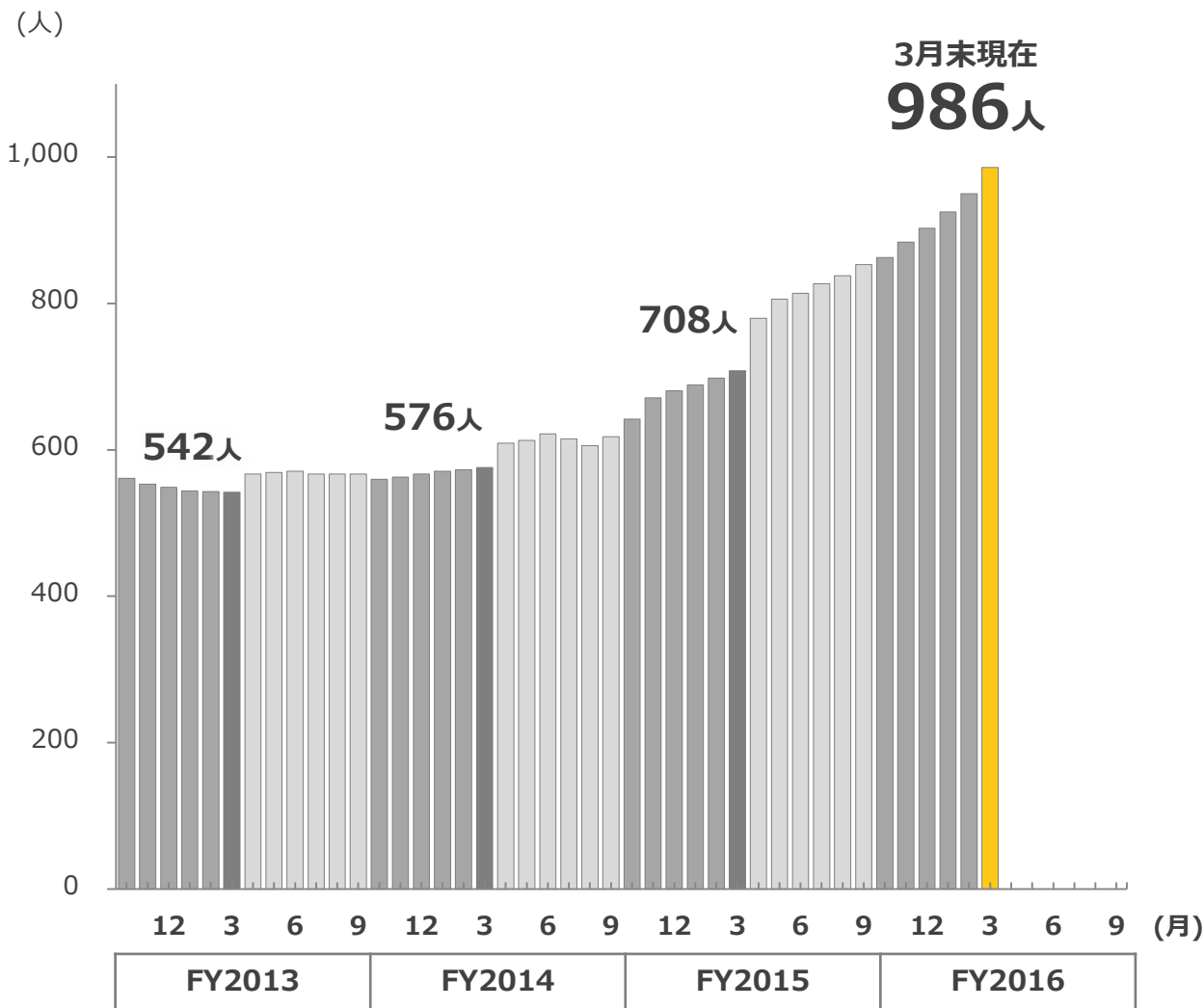
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY16 採用実績		88			110		198
FY15 採用実績		41			40		81
前年同期比		+47			+70		+117

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY16 採用実績								
FY15 採用実績		130			78		208	289
前年同期比								

エンジニア派遣事業 (3) 在籍人数の推移

■ 前年同月末比 278人増加 (+39.3%)



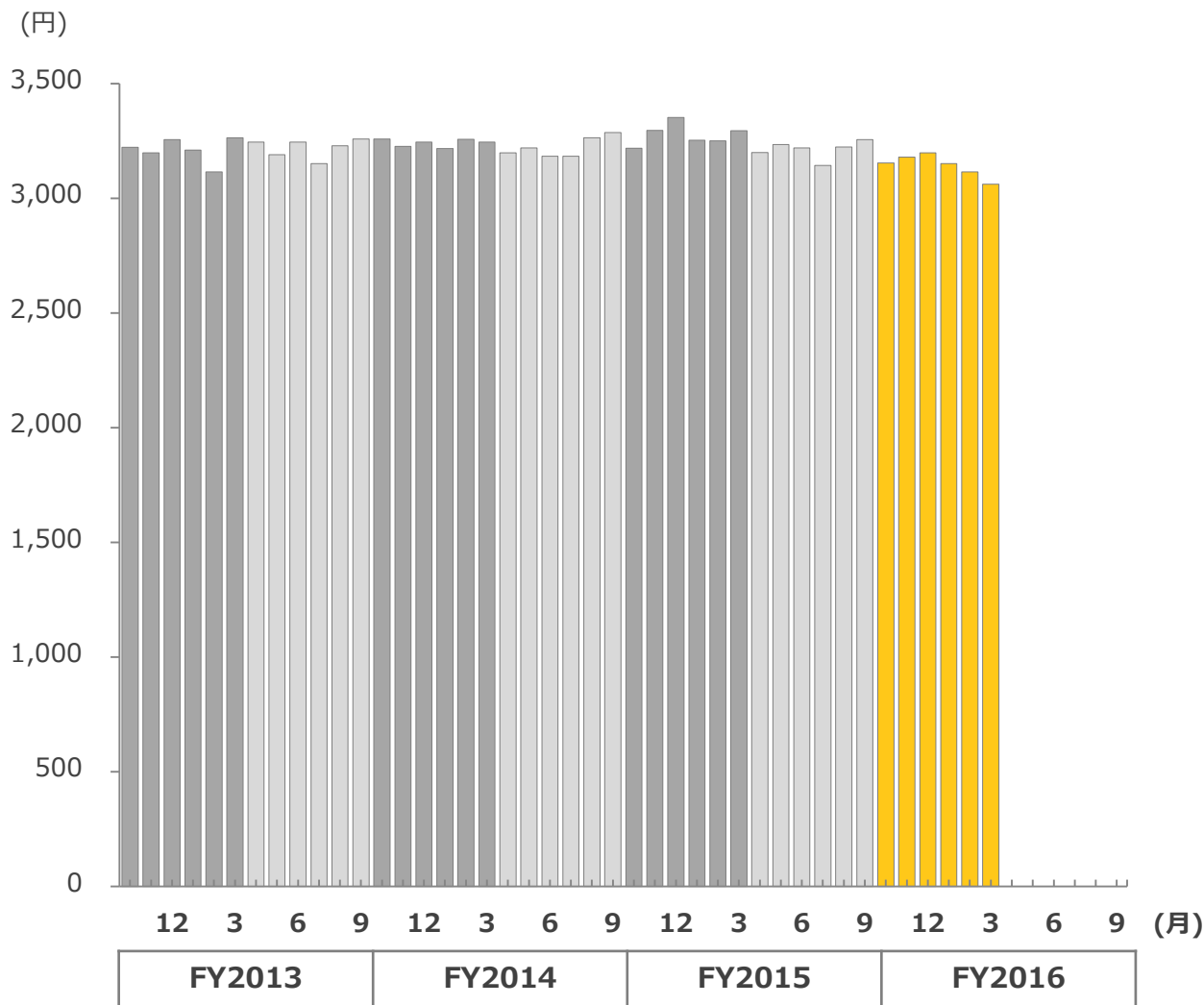
平均技術者数
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	平均技術者数	YoY
FY13/Q2	549人	
FY14/Q2	568人	+3.6%
FY15/Q2	682人	+19.9%
FY16/Q2	919人	+34.8%

※ 各月末技術者数

エンジニア派遣事業（４）派遣単価の推移

■ 大量採用による若手エンジニアの増加により前年同期比 135円減少 (▲4.1%)

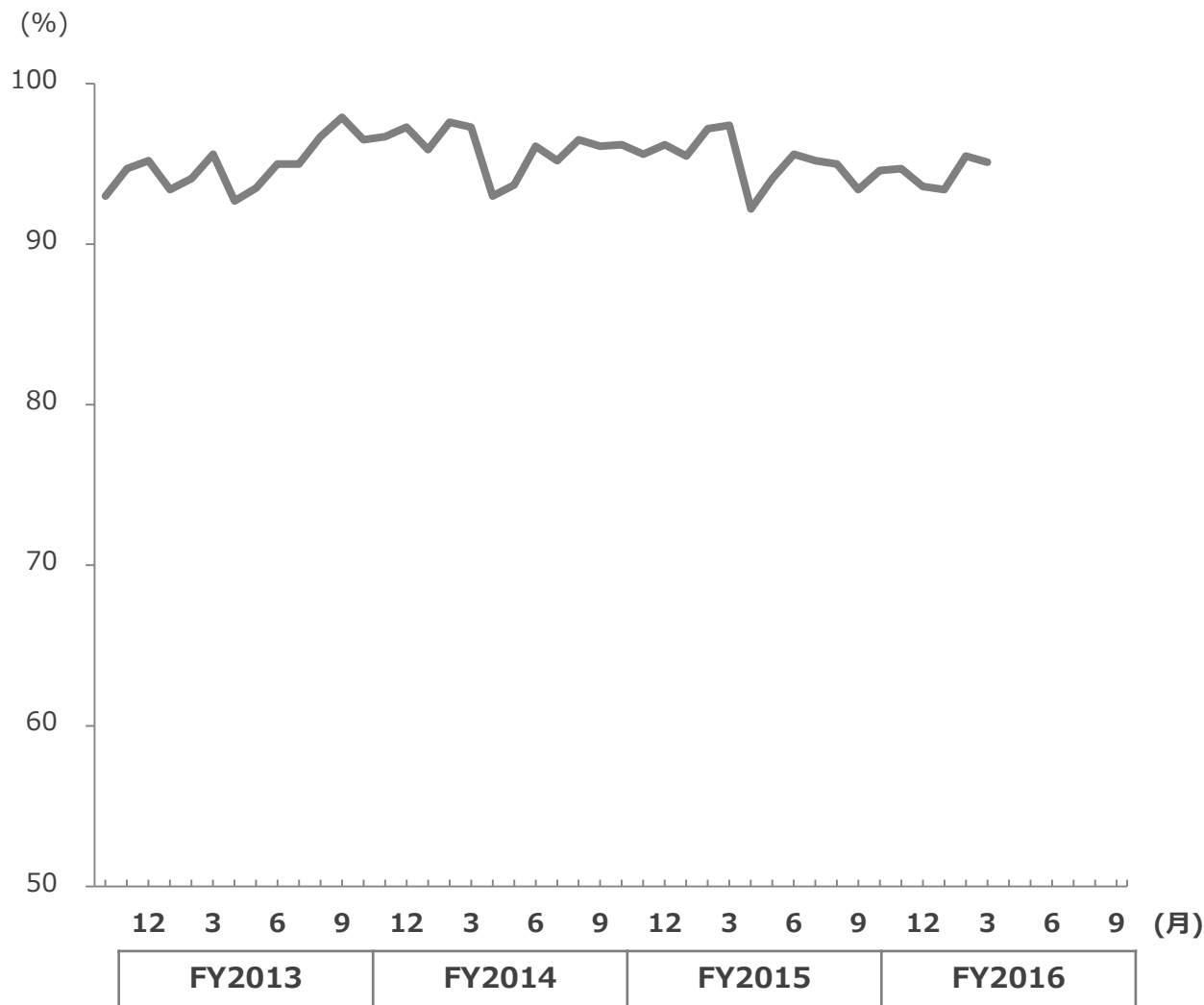


平均技術者数 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY13/Q2	3,212円	YoY
FY14/Q2	3,242円	+0.9%
FY15/Q2	3,278円	+1.1%
FY16/Q2	3,143円	▲4.1%

※ 各月末技術者数

エンジニア派遣事業（5）稼働率の推移

■ 入社人数の増加により前年同期比 1.9ポイント減少も高稼働率を維持



平均技術者数
6ヶ月平均 (10~3月)

FY	稼働率 (%)	YoY
FY13/Q2	94.3%	YoY
FY14/Q2	96.9%	+2.6pt.
FY15/Q2	96.4%	▲0.5pt.
FY16/Q2	94.5%	▲1.9pt.

※ 各月末技術者数

エンジニア派遣事業（6）資金調達

総額 約850百万円の資金調達

調達の内訳

① 新株式		② 新株予約権	
払込期日	2016年5月25日	割当日	2016年5月25日
発行新株式数	430,600株	潜在株式数	380,200株
調達の額	450百万円	調達の額	400百万円

資金使途

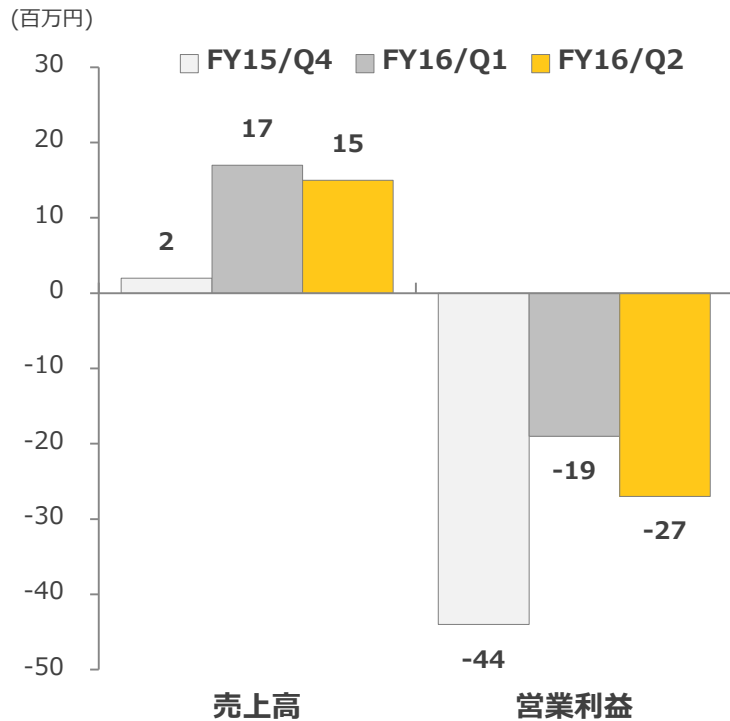
①	フィンテック等の高成長の見込めるIT分野への新規参入資金	500百万円
②	M&Aおよび業務提携資金	350百万円

人材紹介事業

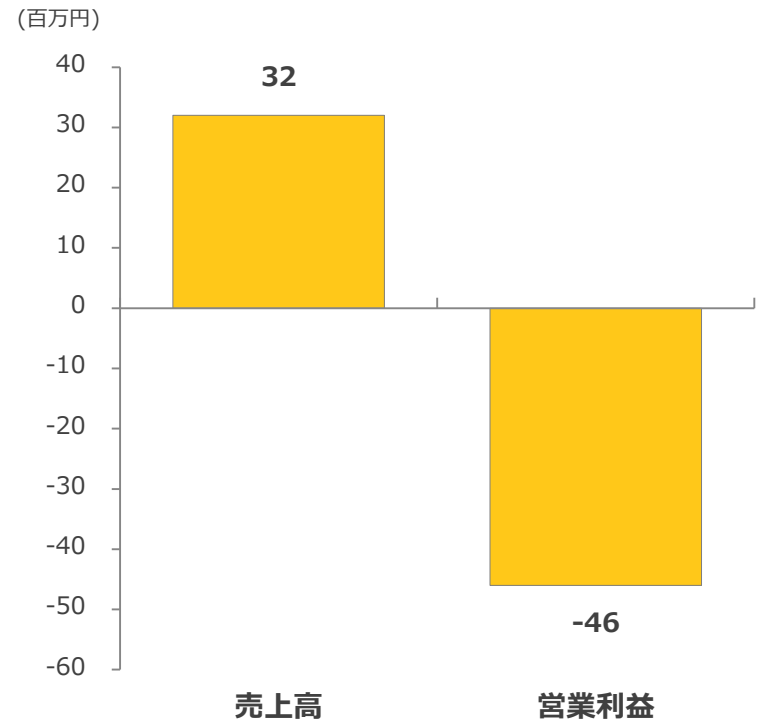
人材紹介事業

- 2015年6月より建設業+製造業界への人材紹介事業開始 → FY2016は投資先行
- ベトナムおよびフィリピンに採用拠点を設立 → 外国人エンジニアを育成

会計期間ごとの推移



FY16/Q2 累計期間



2016年9月期
下半期について

2016年9月期 通期 連結業績予想

(百万円)

	FY2016 上半期 実績	FY2016 通期予想	進捗率
売上高	11,195	23,000	48.7%
当期純利益	831	2,000	41.6%
1株当たり純利益	11.15円	26.82円	41.6%

売上総利益率の回復

採用

1. 2,000人採用

フォロー

2. 定着率の改善

営業

3. 派遣単価の引上

採用戦略（1）採用人数の進捗

1. 面接担当者のスキルを標準化
2. 応募→面接→内定→承諾のプロセスを一元管理
3. 20代・男性の一般的初任給 19～22万円 ⇒ 夢真HD 25万円 (残業代込)
4. 採用拠点を新設 ⇒ 1月に金沢、6月に静岡OPEN ⇒ 全国10ヶ所に

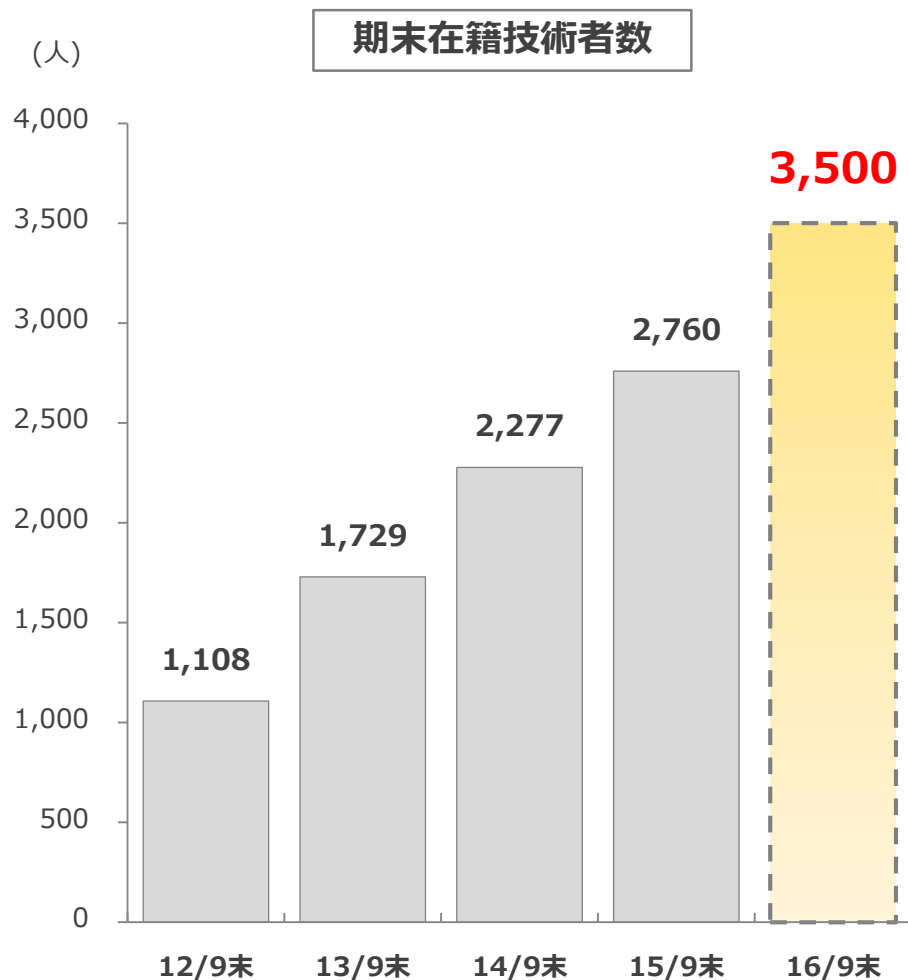
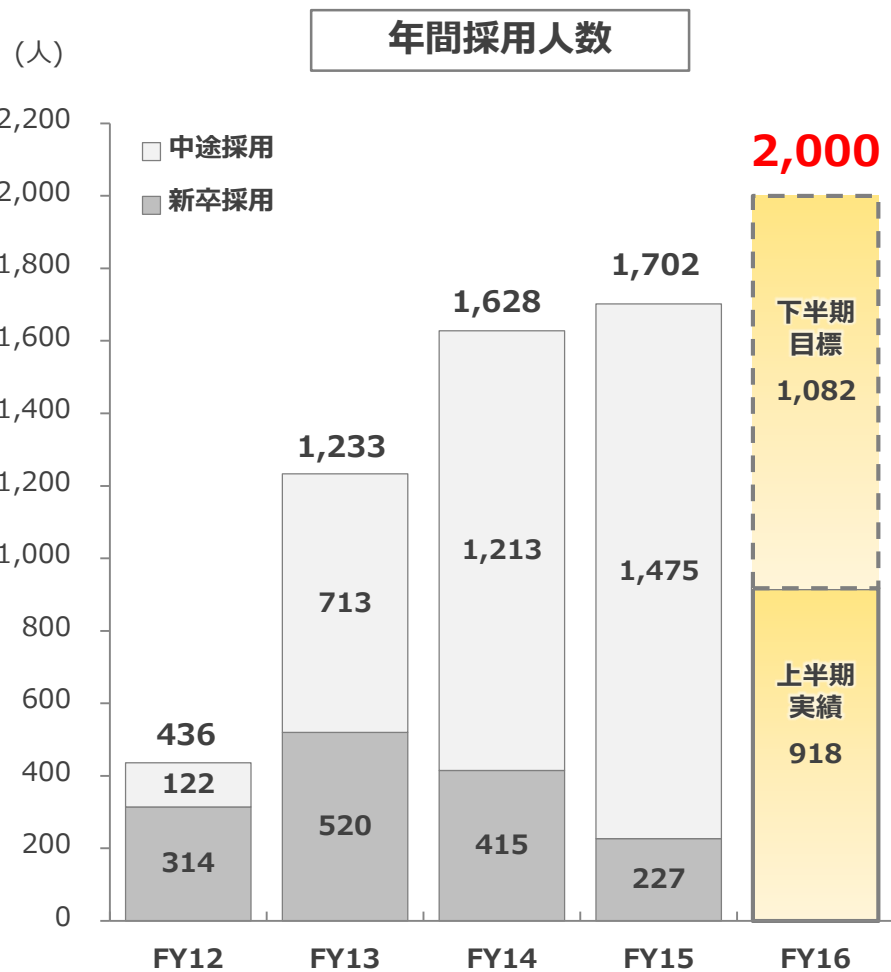
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY16 採用計画	500			500			1,000
FY16 採用実績	458			460			918
計画差異	▲42			▲40			▲82

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY16 採用計画	530			470			1,000	2,000
FY16 採用実績	約 340		残 190					
計画差異								

採用戦略（2） 目標とする在籍技術者数

- FY2014より4月の一斉入社による稼働率の低下防止のため中途入社人数増加
- 2016年9月末に740人増加の3,500人目標



フォロー戦略（1）定着率の改善施策

全技術者向けフォロー戦略

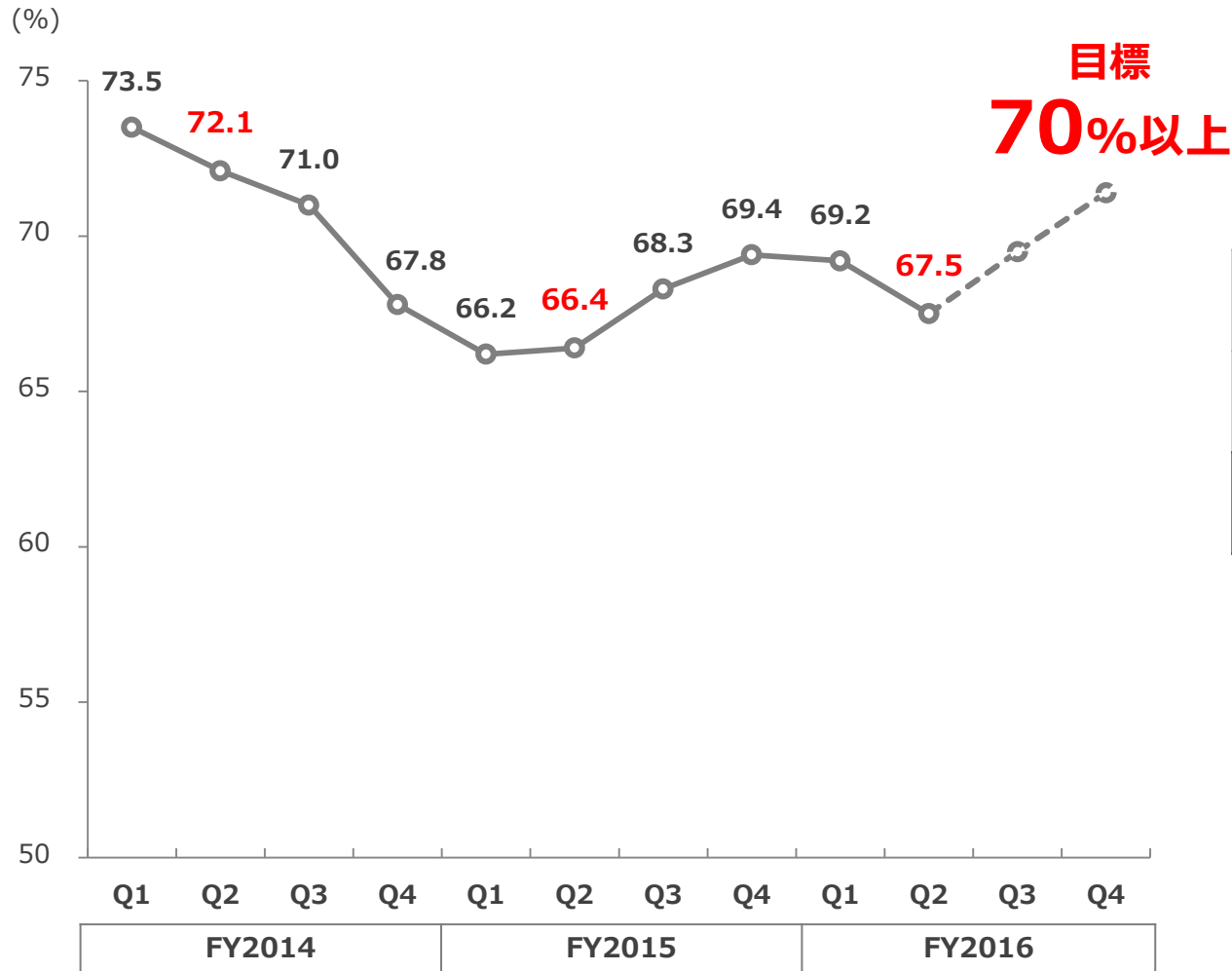
1. キャリアプランの作成
2. 定期的に情報共有の場を提供
3. サークル活動の推進・補助
4. 待機期間も100%給料保証
5. 資格取得の補助・推進
6. 資格手当の細分化
7. 定期的なスキルチェック
8. 研修旅行制度

新入社員へのフォロー戦略

1. 初現場へ派遣後、1ヶ月間 毎週ヒアリングを実施
⇒ 問題を早期発見 → 現場の入替などでフォロー
2. 入社から3ヶ月、6ヶ月、1年ごとに研修を実施
⇒ 現場で必要なスキルを定期的にフォロー
3. 研修時にグループ・パートナー制を導入（3月スタート）
⇒ 同期との繋がりを深化 → 帰属意識を醸成

フォロー戦略（2） 定着率の推移

- 継続的な改善策で一定の改善傾向を見せるも2月・3月に退職者増加
- FY2016/Q4ではFY2014/Q1水準を目指す



平均定着率
6ヶ月平均 (10~3月)

FY14/Q2	72.8%	YoY
FY15/Q2	66.3%	▲6.5pt.
FY16/Q2	68.4%	+2.1pt.

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

営業戦略（1）外部環境・施策

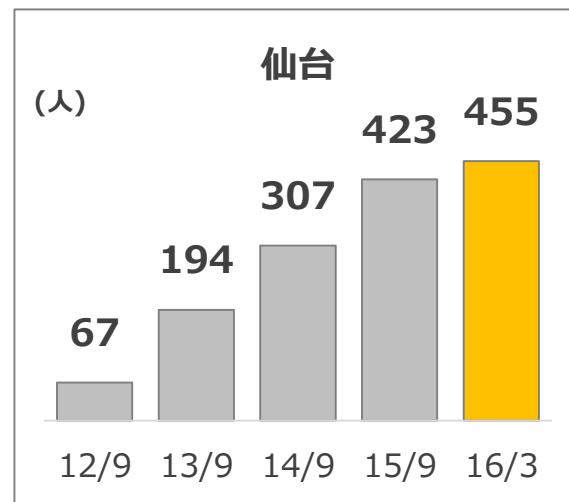
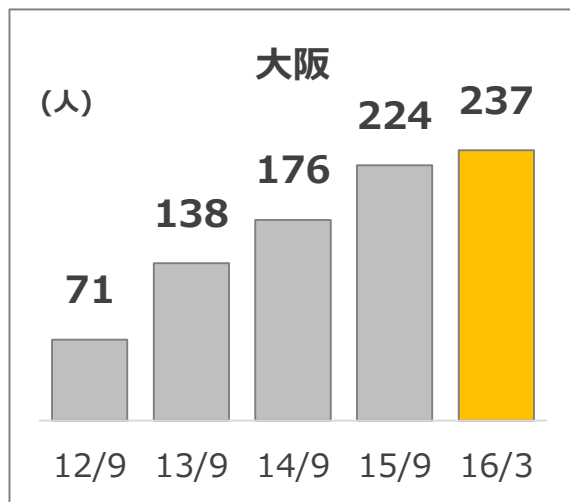
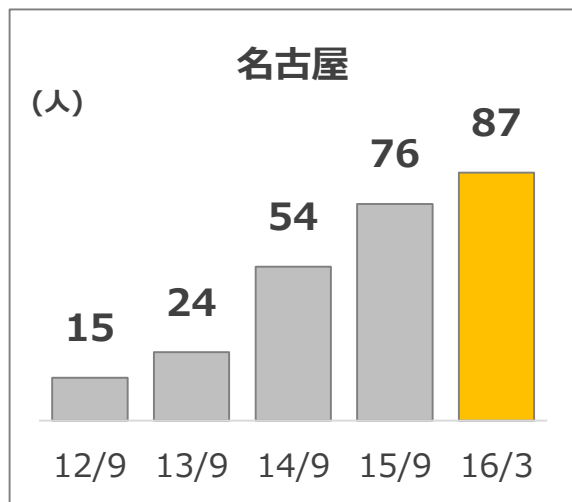
外部環境

- 若手・未経験者を活用するゼネコンが増加 ⇒ スーパーゼネコンにも波及
- 首都圏・東北が引き続き牽引も ⇒ 大阪・名古屋営業所 派遣人数が3倍以上に
- 今後、熊本の震災復旧・復興工事が本格化

営業戦略

1. 派遣単価の引き上げ交渉を継続
2. 新規開拓とともに各ゼネコン地方支店への販路拡大
3. 一定の残業時間を見込める現場へシフト
4. 1月より広島・北海道、6月より金沢・静岡で営業活動を開始

営業所別 技術者数の推移



営業戦略（2）顧客別 売上高割合

- 地道な新規開拓で顧客数1,200社以上（FY2011は711社）
- スーパーゼネコンの比率上昇が顕著

売上高構成比

(%)

順位	FY2012		FY2013		FY2014		FY2015		FY16/Q2	
1	東急建設	8.9	東急建設	6.6	大和ハウス工業	6.5	大和ハウス工業	6.2	大和ハウス工業	6.0
2	鴻池組	3.2	大和ハウス工業	4.8	東急建設	4.6	大成建設	3.7	大成建設	4.0
3	竹中工務店	3.0	黒沢建設	2.7	大成建設	3.5	清水建設	2.8	清水建設	3.5
4	鹿島建設	2.8	竹中工務店	2.2	安藤・間	1.6	東急建設	2.7	竹中工務店	2.8
5	三井住友建設	2.0	大成建設	2.2	清水建設	1.6	竹中工務店	2.2	新菱冷熱工業	1.7
	上位5社合計	19.9	上位5社合計	18.5	上位5社合計	17.8	上位5社合計	17.5	上位5社合計	18.1
	上位10社合計	29.1	上位10社合計	27.5	上位10社合計	24.9	上位10社合計	24.8	上位10社合計	25.1

※敬称は省略しております。

営業戦略（3）女性技術者の拡充

女性技術者の特徴

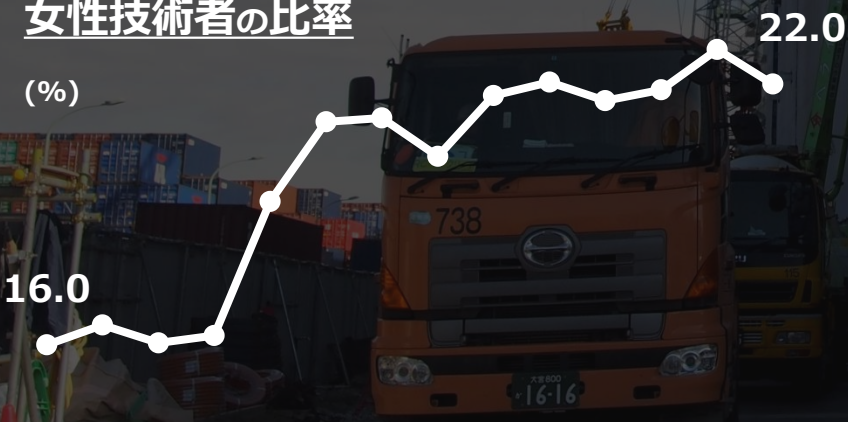
- 建築現場にも女性活用の流れ
- CADオペレーターは1～2年と派遣期間が長期

拡充政策

1. 女性施工管理技術者 育成
2. CADオペレーターの単価上昇
3. 5月以降 20人/月 採用予定

女性技術者の比率

(%)



FY2013	FY2014	FY2015	FY2016
Q2	Q4	Q2	Q4

Q2 Q4 Q2 Q4 Q2 Q4 Q2 Q4



重要施策まとめ

1. 稼働人数

- ・ 2,000人採用
- ・ 継続的なフォロー施策で定着率改善
- ・ 女性技術者の積極採用

2. 稼働率

- ・ 端境期である4~6月に向け採用抑制
- ・ 事務作業軽減 ⇒ 営業効率化で高稼働率へ
- ・ 地方営業所のさらなる活性化 ⇒ 販路拡大

3. 稼働時間

- ・ 契約更新時に残業を見込める現場へシフト

4. 派遣単価

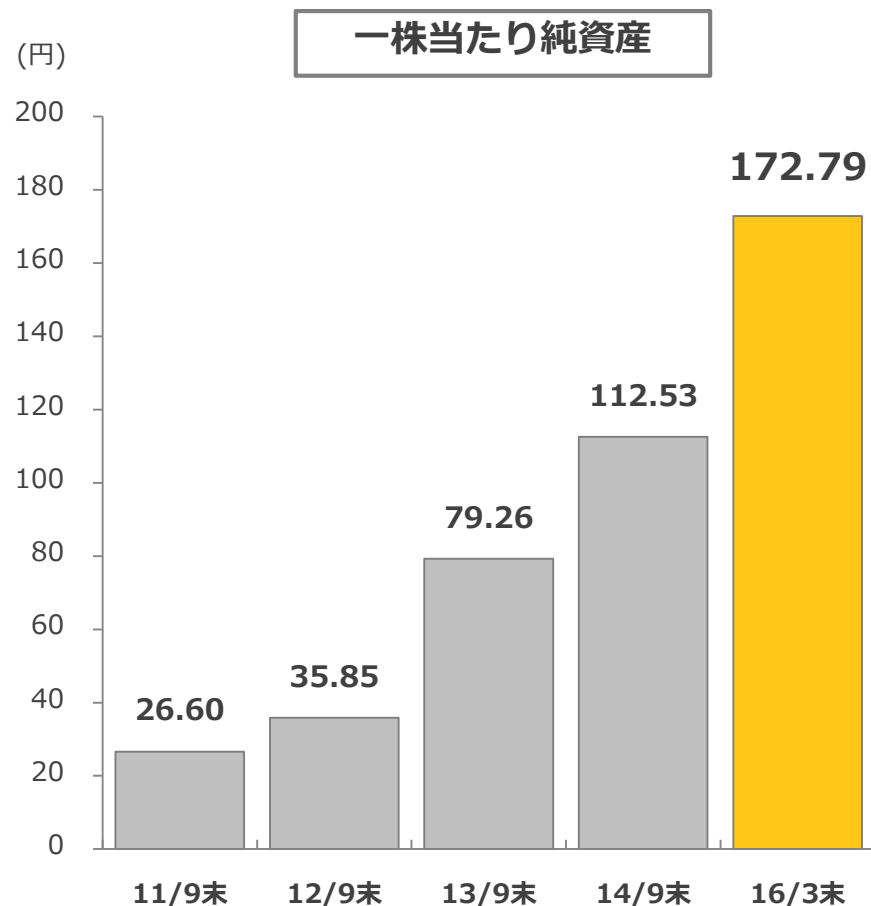
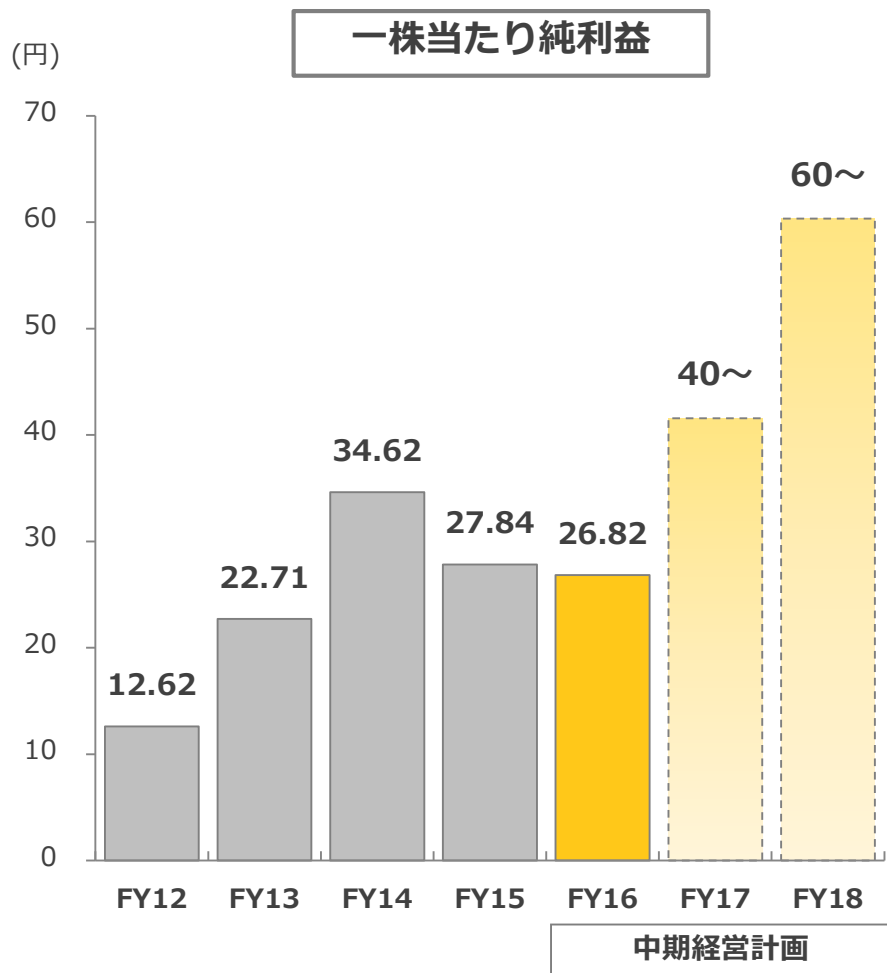
- ・ 継続的なフォロー研修で高付加価値へ
- ・ 契約単価に重点を置いた評価制度

株主還元

株主還元

株主還元（1） 一株当たり純利益・純資産

- 1株当たり純利益 ⇒ 自己株式の処分による株式数の増加で一時的に減益も事業再編による利益率の改善でFY17以降は上昇

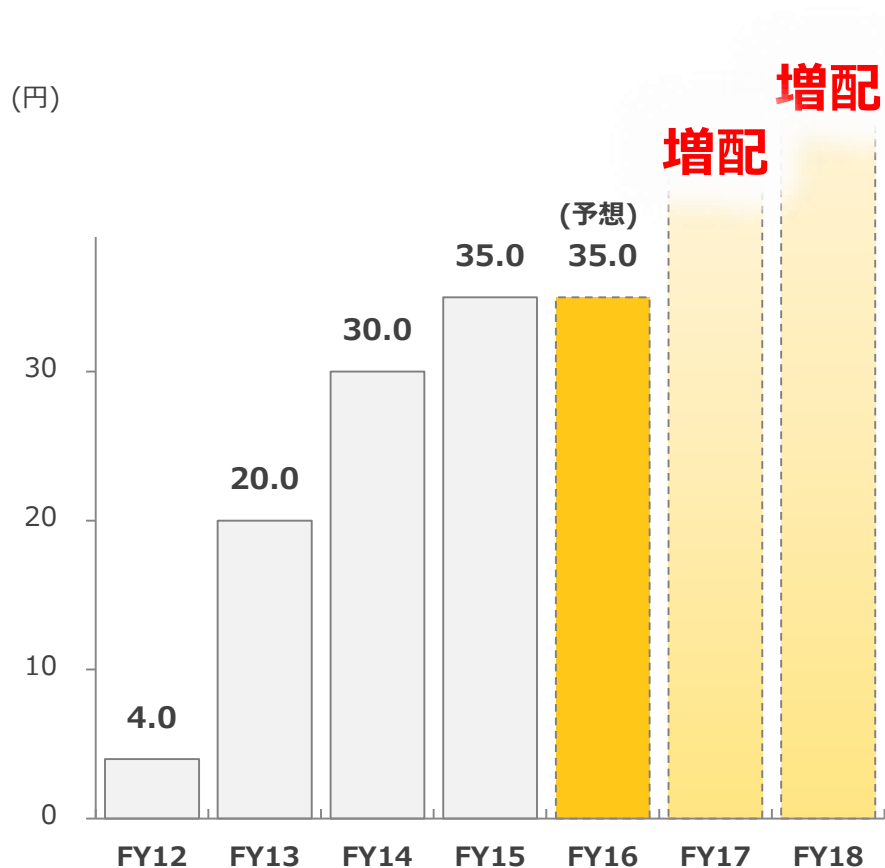


- ※ 1. 一株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100
- 2. 一株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

株主還元（2） 配当政策

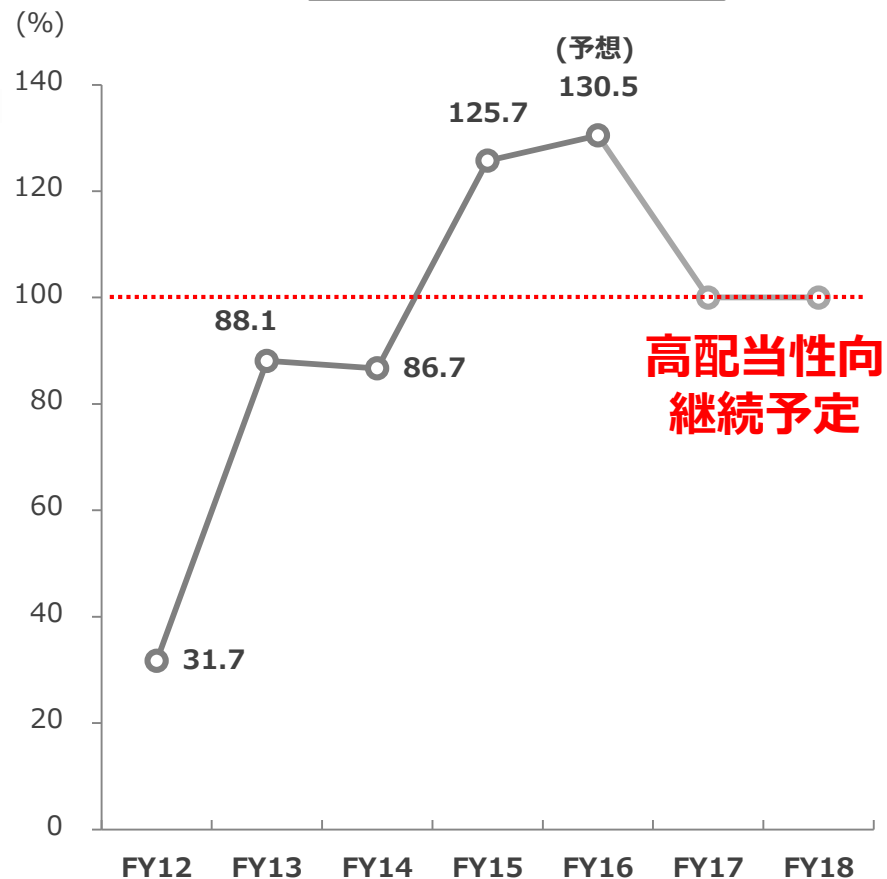
■ 每期増配方針 → FY2017までは配当性向100%を、それ以降も高配当継続予定

一株当たり配当金



中期経営計画

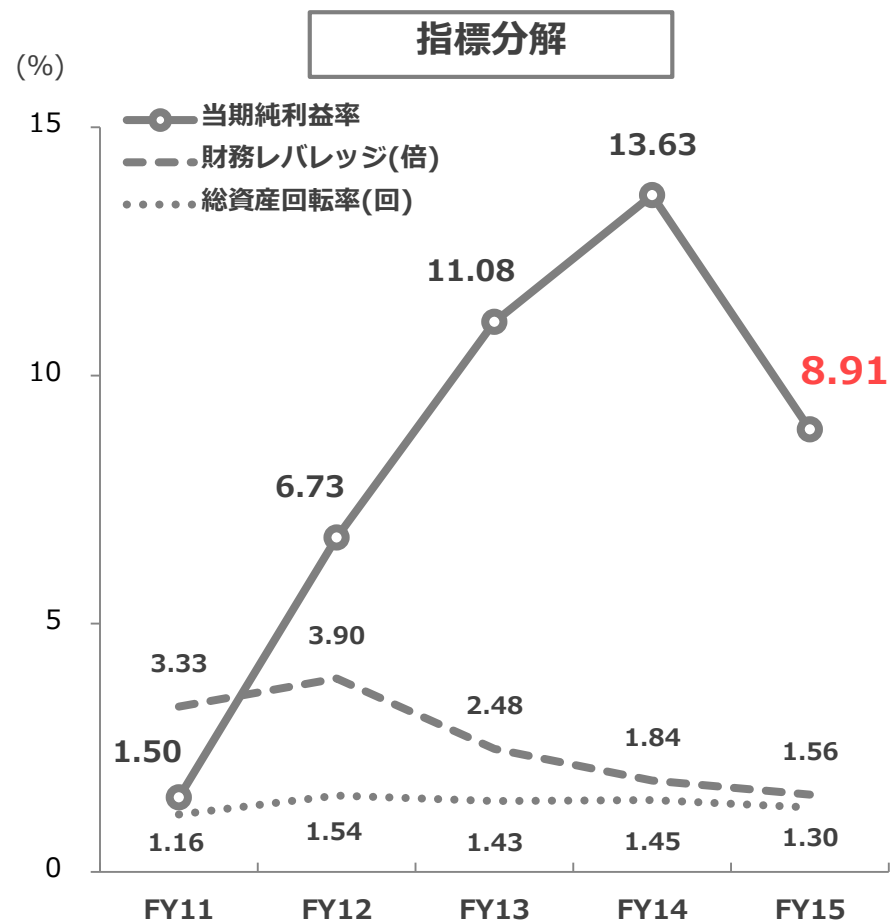
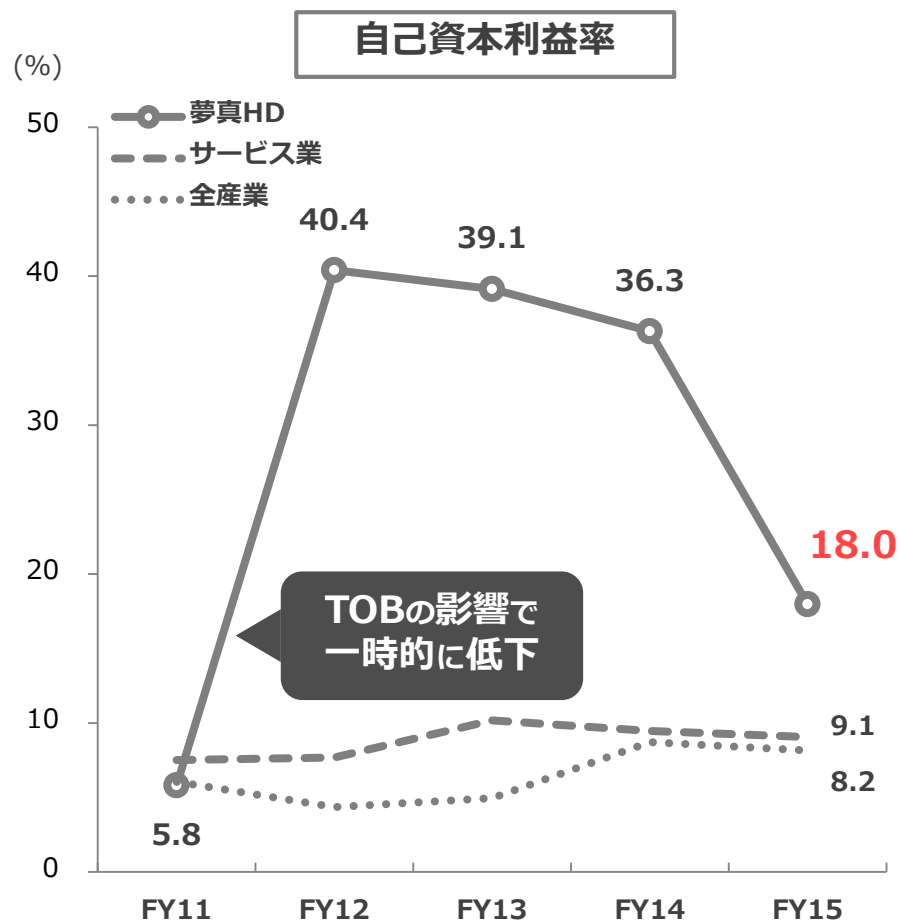
配当性向



中期経営計画

株主還元（3）自己資本利益率

- 利益率の低下+自己株式処分による資金調達により低下
- 利益率の改善+M&Aなど積極的投資による自己資本の圧縮で30%水準への回復を目指す



- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
 3. 純資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)
 4. 全産業・サービス業は東証一部銘柄

ご参考

ご参考 (1) 中期経営計画

- 每期2,000人以上の採用を目指す
- 高配当継続で「高成長と高配当」の両立へ

(百万円)

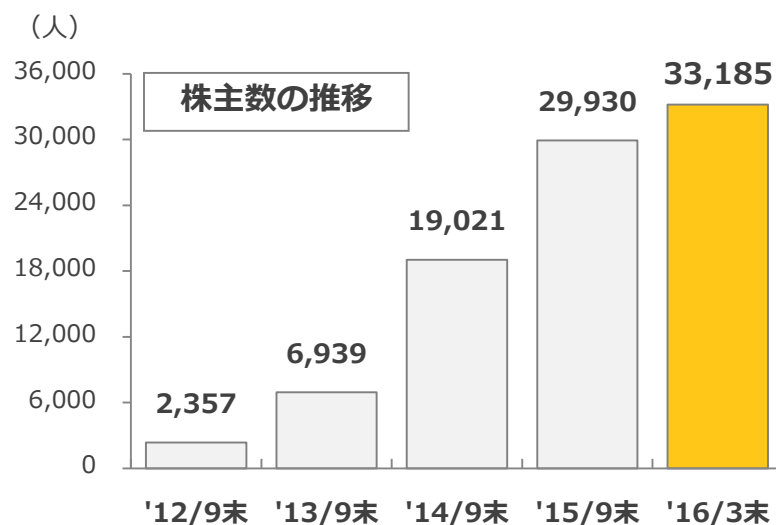
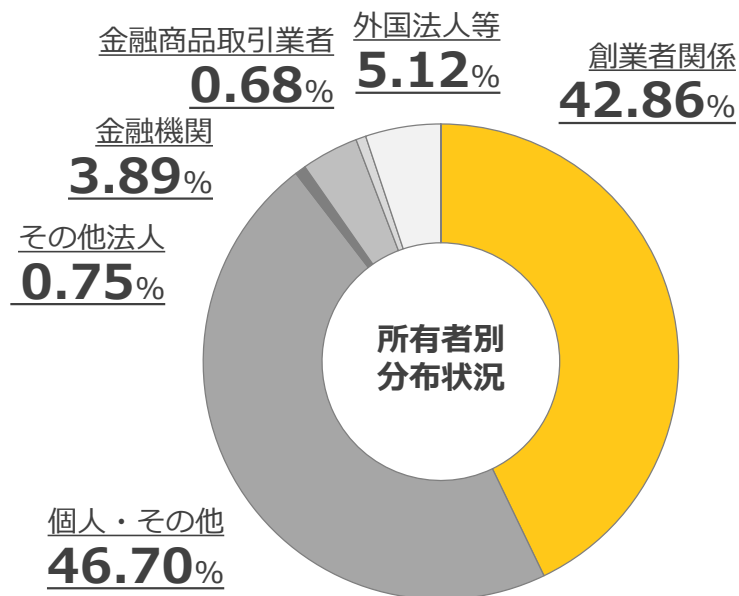
	実績	中期経営計画		
	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018
売上高	21,115	23,000	31,000	40,000
当期純利益	1,881	2,000	3,100	4,500
採用人数	1,702人	2,000人	2,300人	2,600人
期末技術者数	2,760人	3,500人	4,250人	5,000人
1株当たり配当金	35.0円	35.0円	100%目標	高配当性向
配当性向	125.7%	130.5%		

※ 連結の数値となります。

ご参考 (2) 株式の状況

2016年3月31日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	16,425	22.02
2	有限会社佐藤総合企画	14,844	19.90
3	日本トラスティ・サービス信託銀行	2,006	2.70
4	BANQUE PICTET AND CIE SA	900	1.21
5	深井 英樹	880	1.18
6	資産管理サービス信託銀行	739	0.99
7	佐藤 淑子	688	0.92
8	STATE STREET LONDON CARE OF STATE STREET BANK AND TRUST.	571	0.77
9	崎山 佳香	535	0.72
10	崎山 昭仁	398	0.53
大株主上位10名合計		37,987	50.94



※ 発行済株式総数=74,573,440株

ご参考 (3) 役員紹介

取締役

7名 (社外:2名)

代表取締役会長

佐藤 真吾

Born on Mar. 14, 1947 18,425,440shares

代表取締役社長

佐藤 大央

Born on Nov. 25, 1983 3,700shares

取締役

小野 定信

Born on Apr. 25, 1955 5,000shares

取締役

楠原 正人

Born on Jan. 2, 1950 17,000shares

取締役

鈴木 豊彦

Born on Jan. 16, 1947

社外取締役 (独立役員)

坂本 朋博

Born on Dec. 17, 1962 Sakatomo Law Office (Present post)

社外取締役 (独立役員)

小田 美紀

Born on Jan. 15, 1973 FinanTec Co., Ltd. (Director)

監査役

3名 (社外:2名)

社外監査役 (独立役員)

高橋 宏文

Born on Sep.1, 1939 4,000shares

社外監査役 (独立役員)

六川 浩明

Born on Jun. 10, 1963
OGASAWARA KONNO & ROKUGAWA (Present post)

監査役

松本 幸夫

Born on Mar. 7, 1948

Total

10名

(As of Jan 4, 2016)

免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



JASDAQ

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp